平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	人事考課システム導入費

所管課	人事課	(総務部)

事業の目的

平成23年度から試行を開始した「人事考課制度」について、平成24年度からその本格実施にあたりシステムを導入する事により、紙媒体による評価シートの管理から、システムによる事務処理と運用、管理を行うことにより、時間をかけずに迅速なデータ化等が可能となり、その成果を人事異動、処遇に適格に反映することができる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
細目	1	本庁一般管理費

根拠条例等	宇陀市人材育成基本方針外
総合計画	基本計画　第6章　第2節　行政サービスの向上

H24年度 事業の概要

人事考課システムを導入し、その使用料と保守料を支払う。
スケジュール
　6月業者決定
　7月打ち合わせ
　8月職員説明会
　9月～10月システム稼動

事業の成果

人事考課システムを導入し、システムの説明会を行い、同時に考課者訓練や研修へと繋げて、職員の人事考課制度の熟知を図り、充実した制度の運用を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,050
H24予算額	A	1,050
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,050

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目　標

平成24年度から本格稼働の人事考課制度がスムーズに職員に浸透しその運用が的確に迅速に処理できるようにする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6. 改革改善プロジェクト
　(2) 人事考課制度のシステム構築

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-3-1〉　所属 〈45〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	庁舎管理業務・庁舎省エネ化対策事業 （管財課 財産管理費）

所管課	管財課	（総務部）

事業の目的

・庁舎管理経費の節減、現在の省エネルギー事情への対応、CO2削減を目的に庁舎設備の省エネ化を図る。
・本庁舎においては、LED照明導入をはじめとするいくつかの設備省エネ化に試験的に取り組み、市内各施設での導入検討の参考事例にするほか、市民に向けての啓発機会とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	3	財産管理費
細目	1	本庁財産管理費

根拠条例等	宇陀市庁舎管理規則 他
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上

H24年度事業の概要

○LED照明試験設置

・来庁者の目に付きやすい箇所で点灯時間の長い照明設備のうち一部をLED照明に交換する。
　今年度については試験的な取り組みとして、開庁時間中、常時点灯している本庁1Fトイレ照明をLED蛍光灯に取り替える。

@10,000円×15箇所×1.05＝157，500円

事業の成果

・庁舎管理経費の節減
・二酸化炭素ガス排出量の削減
・市民に向けての省エネ・CO2削減に対する啓発活動の促進

財源の内訳 （単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		158
H24予算額	A	158
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	158

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目標

・本庁舎での試験導入の結果を参考に、市内の公共施設はじめ各家庭での省エネ化促進に寄与させる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(7) 地球環境に配慮した施策

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	総合計画後期基本計画策定事業

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的

宇陀市のまちづくりの進むべき方向と目標を明らかにし、その実現に向けて市民と行政がそれぞれの役割に応じて、主体的にまちづくりを進めていくための指針を策定するものである。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	2	総合計画費

根拠条例等	地方自治法第2条第4項(平成23年5月2日改正)
総合計画	基本構想　第1章　まちづくりの基本方針

H24年度事業の概要

宇陀市総合計画は平成20年度～平成29年度の10年間の基本構想であるが、平成24年度で前期基本計画が終了する。基本計画は、基本構想の描く将来像、目標などを実現化するための基本的な考え方や施策の展開を分野ごとに明らかにするものである。前期基本計画を検証し、後期基本計画を策定する。

事業の成果

後期基本計画を策定することにより、総合計画基本構想をより具体的、計画的に推進する。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		3,519
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	3,519
H23当初予算額	B	1,075
H23現計予算額		1,075
増減額	A－B	2,444

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		1,075
従事職員数【人工】		1.40
人件費 (人工×8,000千円)		11,200
総事業費:人件費含む (千円)		12,275
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額／全体事業費	
活動指標の実績	単位	23.4　単位　%
単位当たりコスト　(円)		524,573

特定財源の状況

市町村合併補助金　3,519千円

事業の目標

総合計画後期基本計画の策定

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5. 共に考え行動する「協働」プロジェクト
(6) みんなでつくる総合計画後期基本計画

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的

公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	23	大宇陀南部線運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　第3章第3節　公共交通機関の充実

H24年度事業の概要

奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域に市営有償バスを運行する
運行便数:6便／日
使用料:大人250円　小人100円

事業の成果

平成22年度において、延べ4，035人の利用(1日平均11．2人)があった。
平成21年度に比べ利用者が233人増となった。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		856
国　費		
県　費		
市　債		
その他		420
一般財源		4,380
H24予算額	A	5,656
H23当初予算額	B	5,535
H23現計予算額		5,535
増減額	A－B	121

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	5,617	5,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費 (人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む (千円)	6,417	6,300
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用人数	
活動指標の実績	4,035 単位 人	4,000 単位 人
単位当たりコスト　(円)	1,590	1,575

特定財源の状況

大宇陀南部線使用料　856千円
地元協力金　420千円

事業の目標

奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表、運行経路の改善を行い利用者を増やしていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(1) 地域公共交通の確保

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的

公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費

根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例
総合計画	基本計画　第3章第3節　公共交通機関の充実

H24年度事業の概要

奈良交通の撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間の市営有償バスを運行する。
運行便数:10便／日
使用料:大人350円　小人180円

事業の成果

平成19年度より奈良交通バス撤退路線の代替バスとして運行を行った。

平成22年度　運行日数　243日
年間利用者数　1,793人
運行便数　2,430便

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		476
国　費		1,386
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,433
H24予算額	A	5,295
H23当初予算額	B	5,172
H23現計予算額		5,172
増減額	A－B	123

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,901	5,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	4,701	5,800
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用人数	
活動指標の実績	1,793 単位 人	1,800 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,622	3,222

特定財源の状況

榛原大野線バス使用料　476千円
地域公共交通確保維持改善事業補助金　1,386千円

事業の目標

奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表の見直し等を行い利用者を増やしていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(1) 地域公共交通の確保

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費

根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例
総合計画	基本計画　第3章第3節　公共交通機関の充実

H24年度事業の概要	室生地域において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを廃止し、デマンド型乗合タクシーを本格運行する。 運行便数:6便／日 使用料　300円(同一エリア)　500円(複数エリア)
事業の成果	平成22年度より宇陀市地域公共交通活性化再生協議会において実証運行しており、平成22年度上半期においては、1日平均17．2人の利用であったが、平成23年度上半期においては1日平均22．5人の人が利用している。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		2,232
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		11,026
H24予算額	A	13,258
H23当初予算額	B	9,219
H23現計予算額		9,219
増減額	A－B	4,039

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	7,368	12,000
従事職員数【人工】	0.70	0.70
人件費(人工×8,000千円)	5,600	5,600
総事業費:人件費含む(千円)	12,968	17,600
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用人数	
活動指標の実績	4,619 単位 人	5,361 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,808	3,283

特定財源の状況

デマンド型乗合タクシー使用料　2,232千円

事業の目標	1台平均利用者数が2人以上になるように努め、効率的な運行を目指す。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安心］ (1) 地域公共交通の確保

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行補助

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章第3節　公共交通機関の充実

H24年度事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス事業者に運行経費の補助を行う。 奥宇陀線(上内牧系統)　4，000千円 桜井菟田野線　624千円
事業の成果	民間バス路線の維持 奥宇陀線(上内牧系統)　年間利用者数　3，375人 桜井菟田野線　年間利用者数　20，953人

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		4,624
H24予算額	A	4,624
H23当初予算額	B	4,419
H23現計予算額		4,419
増減額	A－B	205

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,171	4,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	3,971	4,800
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用人数	
活動指標の実績	3,375 単位 人	3,400 単位 人
単位当たりコスト　(円)	1,177	1,412

特定財源の状況

事業の目標	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安心］ (1) 地域公共交通の確保

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-1〉　所属 〈81〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的

市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章第3節　公共交通機関の充実

H24年度事業の概要

三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。

事業の成果

バス路線の維持
平成22年度利用者数　1日平均35．1人　運行日数　242日

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		500
H24予算額	A	500
H23当初予算額	B	500
H23現計予算額		500
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	500	500
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費 (人工×8,000千円)	400	400
総事業費:人件費含む (千円)	900	900
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用人数	
活動指標の実績	8,498 単位 人	8,500 単位 人
単位当たりコスト　(円)	106	106

特定財源の状況

事業の目標

バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(1) 地域公共交通の確保

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈2-1-4-40〉　所属 〈81〉

平成24年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)

所管課	企画課	(企画財政部)

事業の目的

菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域の交通手段の確保を目的として、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	40	菟田野地域事務所企画費

根拠条例等	「菟田野らくらくﾊﾞｽ」運行事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第3節　バス利用の促進

H24年度事業の概要

菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域を1日3便運行する。

事業の成果

平成22年度の実績として、日に3便の運行で243日運行し、一日の平均乗客数は約3人で、年間718人が利用した。

利用目的として、高齢者世帯の買い物や通院での利用がほとんどで、該当地域の人々には無くてはならない重要な交通手段となっている。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,730
H24予算額	A	1,730
H23当初予算額	B	1,710
H23現計予算額		1,710
増減額	A－B	20

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	1,560	1,560
従事職員数【人工】	0.005	0.005
人件費(人工×8,000千円)	40	40
総事業費:人件費含む(千円)	1,600	1,600
活動指標名	乗車数	
活動指標の算式	年間利用者人数	
活動指標の実績	718 単位 人	960 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,228	1,667

特定財源の状況

事業の目標

地域に根ざした、より効果的な交通手段の確保。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(1) 地域公共交通の確保

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金

所管課	総務課	(総務部)

事業の目的

市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	10	生活安全対策費
細目		

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章第5節　安全・安心な暮らしの実現　防犯体制の強化

H24年度事業の概要

防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金額(1基あたり)

補助対象経費	補助金額
防犯灯新設	10
既設電柱に照明器具新設	6
照明器具の更新	3

事業の成果

平成22年度実績

補助対象区分	設置数
防犯灯新設	20基
既設電柱に照明器具新設	15基
照明器具の更新	28基

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		456
H24予算額	A	456
H23当初予算額	B	476
H23現計予算額		476
増減額	A－B	▲ 20

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	374	237
従事職員数【人工】	0.05	0.03
人件費(人工×8,000千円)	400	240
総事業費:人件費含む(千円)	774	477
活動指標名	人口	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	35,992 単位 人	35,285 単位 人
単位当たりコスト　(円)	22	14

特定財源の状況

事業の目標

安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(7) 防犯灯、交通安全施設の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会設立促進

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を目指す。
また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で『いきいきした地域づくり』ができるよう応援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第6章　第1節　(2)市民の協働と参画の促進

H24年度事業の概要

①「まちづくり協議会準備委員会」の開催(1回)　69千円
②市民への浸透を図る「まちづくり講演会」の開催　334千円
　全体会　1回(協働のまちづくりの概念)
　地域会　4回(協議会の実務)
③補助金・地域支援員　13,480千円
　設立検討会補助金　(2,000千円)
　いきいき地域づくり補助金　(5,000千円)
　地域支援員賃金・・・4名分(6,480千円)
④周知印刷・事務費等　481千円

事業の成果

○地域自治区や地域協議会の廃止後における、市民主体のまちづくり組織が形成される。
○行政側からの押しつけでなく、自らが考えることで、地域の実情に応じた活動しやすい組織が生まれる。
○いきいき地域づくり補助金の活用により、地域課題に応じた事業が実施できる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		200
市　債		
その他		
一般財源		14,164
H24予算額	A	14,364
H23当初予算額	B	501
H23現計予算額		501
増減額	A－B	13,863

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		501
従事職員数【人工】		1.50
人件費(人工×8,000千円)		12,000
総事業費:人件費含む(千円)		12,501
活動指標名	準備委員会の進捗率	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	100.00　単位　%
単位当たりコスト　(円)		125,010

特定財源の状況

地域づくりアドバイザー事業補助金　200千円

事業の目標

まちづくり協議会設立検討会の設立、さらには、まちづくり協議会の設立を目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1. 地域の元気創造プロジェクト
　(2) まちづくり協議会の設立促進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	住宅リフォーム促進奨励事業

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的	地域経済の活性化と市民の生活環境の向上による定住促進を図る

根拠条例等	「地域経済活性化のための住宅リフォーム促進奨励事業実施要綱」(予定)
総合計画	基本計画　第3章　第1節　(2)定住環境の整備

H24年度事業の概要	市内に住所のある個人が、一戸建て住宅を市内の事業者に依頼して修繕、補修、増築の工事を行うとき、市内で買い物ができる宇陀商工会発行の商品券を交付する。 対象経費が50万円以上の工事に対し、補助対象経費の10%分(上限額10万円分) 〔予算額〕 負担金、補助及び交付金 商品券10万円分×30件＝3,000千円 (予算の範囲内で先着順) 3年程度実施し、事業効果を見ていく
事業の成果	快適な住宅機能を維持することにより市民の転出や空き家の増加を防ぐ。また、将来住む人がいなくなっても、住宅に価値があれば物件を流通させることができる。 家の所有者にとっては生活環境の向上と投資額の軽減が図れる。 市が1割分の商品券を交付することで、建築業者には予算額の10倍以上の経済効果が期待できる。 また、商工会発行の宇陀限定の商品券を交付することで、宇陀市内の商工業振興が図れる

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,000
H24予算額	A	3,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	3,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位　件
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標	市内流通の商品券をもって住宅リフォームの奨励をすることにより、市の経済の活性化を図るとともに市民の生活環境の向上ができる。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [宇陀市の地域経済活性化] (2) 住宅リフォーム促進奨励制度

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市まちづくり活動応援補助金

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

この補助金は、市内で活動する団体が行う新たな取組みに対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、市民による主体的及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	宇陀市まちづくり活動応援補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第6章　第3節　(2)市民活動の支援

H24年度事業の概要

審査委員会委員報酬　34千円
プレゼン時託児(子育てｻﾎﾟｰﾄｸﾗﾌﾞ)賃金　4千円
消耗品代　10千円
食料費　2千円
郵送料　5千円
まちづくり活動応援補助金　2，800千円

事業の成果

○市民活動が持つ特性を生かした市民ニーズに基づいた事業の実施
○行政活動の補完、代行、補助的な事業実施
○自立した活動ができる団体の育成

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,855
H24予算額	A	2,855
H23当初予算額	B	2,569
H23現計予算額		2,569
増減額	A－B	286

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,569
従事職員数【人工】		0.40
人件費(人工×8,000千円)		3,200
総事業費:人件費含む(千円)		5,769
活動指標名	採択団体数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	10 単位 団体
単位当たりコスト　(円)		576,900

特定財源の状況

事業の目標

市民団体等が活動するうえでの課題である財源確保の面から活動を支援することによって、市民活動の活性化と団体の自立を図るとともに、市民参加のまちづくりを推進する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1. 地域の元気創造プロジェクト
(1) まちづくり活動応援補助金の活用

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	特産品等認定／開発補助事業

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

市内で生産された農林水産物等について認定基準を定め、特産品・名産品として認定することにより、消費者の信頼を高め普及と需要の拡大を図ることで地域産業の活性化に資する。
また、市内で生産された農林水産物を活用した、魅力ある特産品等の新規開発事業に補助金を交付する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	「宇陀市特産品等認定に関する要綱」・「宇陀市特産品等開発補助事業に関する要綱」
総合計画	基本計画　第5章　第1節　(4)付加価値の高い農作物づくりの推進

H24年度事業の概要

【認定】
特産品・名産品について認定基準を定め、これに適合する商品に認定ﾏｰｸを表示することにより付加価値の向上に資する。
〔予算額〕 需用費　7千円

【開発】
魅力ある商品の新規開発に係る必要最小限の費用を助成することで新たな地域ﾌﾞﾗﾝﾄﾞの構築を図る。
〔予算額〕 負担金、補助及び交付金　500千円

事業の成果

宇陀市の特産品・名産品を奨励していくことで、地域産業の活性化を図れる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		507
H24予算額	A	507
H23当初予算額	B	522
H23現計予算額		522
増減額	A－B	▲ 15

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		2
従事職員数【人工】	0.10	0.20
人件費 (人工×8,000千円)	800	1,600
総事業費:人件費含む (千円)	800	1,602
活動指標名	認定数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	34.0 単位 件	36 単位 件
単位当たりコスト　(円)	23,529	44,500

特定財源の状況

事業の目標

認定商品の販路の拡大と付加価値の向上を目指す。
また、新規商品の開発補助事業について、ﾁｬﾚﾝｼﾞすることに意欲のある者が申請しやすい要綱に改正する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(3) 宇陀市特産品等認定・開発補助事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市産業振興会議

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

宇陀市における産業の振興を図り、活力のある協働のまちづくりを目指すため、産業振興会議を開催する。
平成23年12月2日の設立以降、「商工業部会」「農業部会」「林業部会」「わくわく部会」を設置し産業振興の方策を協議している。
平成24年度は、具体的な産業振興施策をまとめ、7月に宇陀市長に提言する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	宇陀市産業振興会議の設置に関する要綱
総合計画	基本計画　第5章　地域資源を活かした産業・交流振興のまち

H24年度事業の概要

宇陀市産業振興会議　委員:21名
会議:4回予定
単なる業界の要望事項でない、業界の枠を越えた協働の取り組みによる産業振興施策を、7月に市長に提言するため、産業振興会議を開催する。

産業振興会議委員報酬	288千円
通信費など	24千円
計	312千円

事業の成果

それぞれの業界で活躍する委員が、産業振興会議という場において、業界を超えて宇陀市の産業の現状、課題について協議することにより、それぞれが役割分担し協働の取り組みによる産業振興の為の方策を探ることが出来る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		312
H24予算額	A	312
H23当初予算額	B	442
H23現計予算額		442
増減額	A－B	▲ 130

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	133	442
従事職員数【人工】	0.50	0.80
人件費(人工×8,000千円)	4,000	6,400
総事業費:人件費含む(千円)	4,133	6,842
活動指標名	開催回数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	4 単位 回	9 単位 回
単位当たりコスト　(円)	1,033,250	760,222

特定財源の状況

事業の目標

宇陀市の産業振興施策について審議を行っている産業振興会議は、平成24年7月に協働の取り組みの視点に立った産業振興施策について、宇陀市長に提言する。
なお、提言後においても産業振興についての取り組みの具現化等に向けて審議をしていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(5) 宇陀市産業振興会議

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク設置・定住促進奨励事業

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。
また、定住促進、安定した世帯構成の継続及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。
さらに、地元経済活性化のため奨励金を商工会発行の商品券で交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	「宇陀市空き家情報バンク設置要綱」・「宇陀市定住促進奨励金交付要綱」
総合計画	基本計画　第3章　第1節　(2)定住環境の整備

H24年度事業の概要

【空き家情報ﾊﾞﾝｸ】
〔予算額〕 チラシ折込等　71千円　通信費　10千円
計81千円

【定住促進奨励事業】
〔予算額〕 負担金・補助及び交付金
1件100千円×40件＝4,000千円

事業の成果

【空き家情報ﾊﾞﾝｸ】 市内の空き家情報の収集や広域圏への周知を市が行うことで空き家の有効活用と人口増加を目指し、市と協定を交わした宅地建物取引業者を介して取引を奨励する。

【定住促進奨励事業】 市内に住宅を取得(新築か購入)した者が一定の要件を満たすとき、奨励金10万円を交付する。H24年度は、要件に「親と同居する者」を加え制度の充実を図るとともに、奨励金を商工会発行の商品券にすることで市内の商工業振興を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		4,081
H24予算額	A	4,081
H23当初予算額	B	2,078
H23現計予算額		2,078
増減額	A－B	2,003

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		2,078
従事職員数【人工】	0.40	0.60
人件費 (人工×8,000千円)	3,200	4,800
総事業費:人件費含む (千円)	3,200	6,878
活動指標名	バンク登録物件・奨励金支給件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	20 単位 件
単位当たりコスト　(円)		343,900

特定財源の状況

事業の目標

所有者に制度を周知し、空き家は地域活力や人口増加の受け皿であることを定着させる。
奨励事業については、制度の拡充をもって市への信頼を高め、地域内の繋がりを維持させるとともに、地元経済の振興を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1. 地域の元気創造プロジェクト
(3) 宇陀市空家情報バンクの活用
(4) 定住促進奨励事業の拡充

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業

所管課	まちづくり支援課	(企画財政部)

事業の目的

少子化対策の一つとして、結婚を望む独身の男女に対し、新たな出会いや結婚の機会の創出を支援することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運醸成を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	「宇陀市結婚支援事業実施要綱」
総合計画	序論　第3章　第4節　6. 中心市街地の求心力の回復と若者を中心とした定住化の促進

H24年度事業の概要

○出会いパーティーの実施
〔予算額〕 委託料　200千円
○ｲﾍﾞﾝﾄを通じて成婚し市に定住した場合の結婚祝金
〔予算額〕 報償費　50千円×2件＝100千円

事業の成果

独身男女の出会いイベントを市が誘導することで、地域全体が若者の結婚を支援する機運を高められる。
また、申込者に「なら出会いセンター」への登録をしてもらうことで、センターが紹介する多くの出会いイベント情報が得られる。
さらに、参加者に宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じ、出会いを誘導しカップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		300
H24予算額	A	300
H23当初予算額	B	770
H23現計予算額		770
増減額	A－B	▲ 470

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		670
従事職員数【人工】	0.10	0.40
人件費(人工×8,000千円)	800	3,200
総事業費:人件費含む(千円)	800	3,870
活動指標名	カップル成立人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	22 単位 人
単位当たりコスト　(円)		175,909

特定財源の状況

事業の目標

市が事業を実施し、また、結婚促進へのPRすることで、市に定住する夫婦を増やし、少子化を防ぐ。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1. 地域の元気創造プロジェクト
(5) 結婚支援事業

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	コンビニエンスストア収納導入事業

所管課	徴収対策課	(企画財政部)

事業の目的

コンビニエンスストアでの市税等の収納を可能にすることにより、いつでもどこでも24時間市税等を自主納付できる環境を整備する。(平成25年度本格実施に向けたテスト及び準備経費)

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	3	徴収対策費
細目	1	本庁徴収対策費

根拠条例等	「宇陀市債権管理計画」基本方針 (4)納付しやすい環境づくり
総合計画	第6章第4節行財政改革の推進 (2)健全な財政運営

H24年度事業の概要

● 印刷製本費(テスト関連用紙代)	735 千円
● 通信運搬費	
・通信回線利用料(月3千円×4月×1.05)	13 千円
● 委託料	
・初期登録料(50千円×1.05)	53 千円
・導入ｼｽﾃﾑﾃｽﾄ費用(3,100千円×1.05)	3,255 千円
合　計	4,056 千円

事業の成果

コンビニ収納の導入により、早期納付のための利便性を高め、現年度納付の納期内納付を推進することにより、滞納を未然に防止させていくことが期待される。
また、合併前より行ってきた定期訪問徴収から自主納付を奨励し、定期的訪問徴収職員のコスト削減を図りたい。

◎事業の成果指標(平成25年度導入実施から)
①現年度徴収率を0．3%以上の向上。
②300件を超える定期徴収による職員のコスト削減と訪問徴収から滞納処分の強化へ徴収方針の移行。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		4,056
H24予算額	A	4,056
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	4,056

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

自主納付の推進と市税の納期内納付の奨励及び徴収率のアップをめざす。

備考

平成25年度本格実施にむけた準備経費
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6．改革改善プロジェクト
(5) 歳入面からの改革改善の取組み

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	徴収対策指導員の雇用

所管課	徴収対策課	(企画財政部)

事業の目的

市税の滞納について、財産調査を行い差押処分等による滞納処分を強化し、税収確保を図ることが急務となっている。
　市税及び市債権の滞納整理を強化することにより、納税交渉や滞納処分による対応を円滑に処理していく為、仮称徴収対策指導員(警察OB)の雇用を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	3	徴収対策費
細目	1	本庁徴収対策費

根拠条例等	「宇陀市債権管理計画」基本方針　(2)法的措置等による対応の強化
総合計画	第6章第4節行財政改革の推進　(2)健全な財政運営

H24年度事業の概要

○滞納処分の強化を図っていくため、徴収対策指導員(警察OB)として雇用し、納税交渉・相談等による滞納者との円滑な対応と納税意識の向上を目指す。

● 非常勤職員賃金	
・徴収指導員賃金(201千円×12月×1人)	2,412 千円
・賞与(201千円×2.15月×1人	432 千円
・手当(300千円×12月×1人)	360 千円
・交通費(8.9千円×12月×1人	107 千円
合　計	3,311 千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,311
H24予算額	A	3,311
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	3,311

事業の成果

○平成23年度の県滞納整理室との協働徴収事業を実施。
　(県派遣職員4名による滞納処分の強化事業)
　平成22年度市税徴収率　　88.6%から
　平成23年度市税徴収率　　90.00%(予想)に改善する。
○滞納整理等により滞納繰越額を3億まで縮減し、滞納状況を改善する。(滞納債権の整理・改善)

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

○平成24年度の徴収率を91%を目指し、
　現年度98%、滞納繰越分20%を超える徴収率を目指す。

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
6. 改革改善プロジェクト
(5) 歳入面からの改革改善の取組み

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業 （市加算分）

所管課	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的

心身障害者に対し医療費の一部を助成し、もって心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
　宇陀市では所得制限を撤廃し、県制度での助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第1節　（2）　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞後期高齢者を除く、身体障害者手帳1、2級又は療育手帳A1，A2所持者に、保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円（月2週間以上の入院の場合は、1，000円）を控除した額を助成する。ただし、対象者が中学卒業までの場合は、入院医療費の自己負担額（食事負担額を除く）を全額助成する。
＜助成方法＞助成対象者が県内医療機関で受診した場合は、その診療情報が国保連合会を通じ市町村に提供され、その情報をもとに対象者が事前に指定してある口座に助成費を振り込む。ただし、県外医療機関での受診の場合や自動償還を取り扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書をもって申請により助成金を支払う。

事業の成果

区　分	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）
受給者数 （年度末現在）	29人	28人	22人
助成件数	520件	402件	408件
助成額	10,149,206円	5,368,702円	3,575,461円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,101
一般財源		2,981
H24予算額	A	4,082
H23当初予算額	B	5,450
H23現計予算額		5,450
増減額	A－B	▲ 1,368

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	5,369	3,576
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	6,169	4,376
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	28 単位 人	22 単位 人
単位当たりコスト　（円）	220,321	198,909

特定財源の状況

福祉医療費助成制度高額療養費収入（諸収入）
1，101千円

事業の目　標

障害があることで医療費がかさみ、就労が困難な状況にある重度な障害者に対し医療費の一部を助成することで安心して医療が受けられるようにすることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(4) 心身障害者医療、重度心身障害者老人等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」開設事業

所管課	介護福祉課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

発達障害児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障害のある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第4節　障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

H24年度事業の概要

発達障害児の早期療育の場とし、指導者の充実と関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。

臨時職員賃金	1,897千円
講師謝礼	200千円
消耗品費	100千円
食糧費	24千円
傷害保険料	16千円
合計	2,237千円

事業の成果

平成22年度実績
平成22年11月より開設。
家庭児童相談員1名、臨時保育士4名、指導員1名で、毎週木曜日朝10時より「ぬくもりの森」で15回実施。5組の親子が参加。

臨時職員賃金	674千円
講師謝礼	30千円
消耗品費	109千円
食糧費	4千円
合計	817千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,237
一般財源		
H24予算額	A	2,237
H23当初予算額	B	2,435
H23現計予算額		2,435
増減額	A－B	▲ 198

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	817	2,435
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	3,217	4,835
活動指標名	達成率(%)	
活動指標の算式	参加親子数/目標	
活動指標の実績	50.0 単位 %	100 単位 %
単位当たりコスト　(円)	64,340	48,350

特定財源の状況

参加負担金(おやつ代)　24千円
地域づくり推進基金繰入金　2,213千円

事業の目標

児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流をはかる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(9)“こあら教室”の開設

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	障害児地域参加交流促進事業(にこにこの部屋開設)

所管課	介護福祉課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

市外の特別支援学校等に通学する児童・生徒に対し、地域の人々との交流や行事等への参加をする機会をつくり、地域住民との交流を通じて障害児(者)への理解を図る。
また、市内の特別支援学級に通学する児童・生徒との交流の機会を設け、集団での生活指導を行いながら、地域における障害児の居場所をつくる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	宇陀市障害児地域参加交流促進事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第4節　障害のあるひとがいきいきと暮らせるまち

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
報償費　30千円
需用費　200千円
委託料　2,346千円
合計　2,576千円

事業の成果

家に引きこもりがちな障害児の居場所づくりができる。
家族の介護負担の軽減につながると共に、障害児が地域の活動に参加することにより、地域とのつながりができ、地域全体での見守りにつながる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,576
一般財源		
H24予算額	A	2,576
H23当初予算額	B	4,472
H23現計予算額		4,472
増減額	A－B	▲ 1,896

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	364	1,799
従事職員数【人工】	0.20	0.30
人件費(人工×8,000千円)	1,600	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	1,964	4,199
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	21.0 単位 人	27 単位 人
単位当たりコスト　(円)	93,524	155,519

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金　2,576千円

事業の目標

小・中学生等との交流並びに地域参加を図ることにより、特別支援学校等に通学する障害児が地元と関わり、地元と密着することにより、地域全体で見守り、障害児が安心して生活が送れるようにする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(10)“にこにこの部屋”の開設

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業 (市加算分)

所管課	保険年金課	(市民環境部)

事業の目的

心身障害者医療費助成事業の対象となる障害を持つ者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)で、後期高齢者医療制度加入者に対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
　宇陀市では所得制限を撤廃し、県制度での助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費

根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱
総合計画	基本計画　第2章　第1節　(2)　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞
保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円(月2週間以上の入院の場合は、1，000円)を控除した額を助成する。

＜助成方法＞
助成対象者の受診情報が後期高齢者医療広域連合から市町村に提供され、その情報をもとに対象者が事前に指定してある口座に助成費を振り込む。

事業の成果

区　分	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
受給者数 (年度末現在)	22人	20人	19人
助成件数	519件	418件	410件
助成額	1,969,349円	2,709,224円	2,209,000円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,280
H24予算額	A	2,280
H23当初予算額	B	2,949
H23現計予算額		2,949
増減額	A－B	▲ 669

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	2,710	2,209
従事職員数【人工】	0.04	0.04
人件費 (人工×8,000千円)	320	320
総事業費:人件費含む (千円)	3,030	2,529
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	20 単位 人	19 単位 人
単位当たりコスト　(円)	151,500	133,105

特定財源の状況

事業の目標

重度心身障害老人等に対して、その医療費の一部を助成をすることで、経済的負担を軽減するとともに、生活の安定に寄与することを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(4) 心身障害者医療、重度心身障害者老人等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊モデル事業

所管課	介護福祉課(長寿介護課)

事業の目的

見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等見守り隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	3	老人福祉費
細目	1	本庁老人福祉費

根拠条例等	高齢者等おしらせ隊実施要領　高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領
総合計画	第2章第3節 (2)高齢者福祉サービスの充実

H24年度事業の概要

平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等おしらせ隊は市が、高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、24年度は実施予定とする。特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行っていくため、市社会福祉協議会委託料の費用を計上した。

事業の成果

高齢者等おしらせ隊と高齢者等サポート隊の2つを合わせて高齢者等見守り隊を呼んでいる。高齢者等おしらせ隊は、配達関連事業所及びライフライン検針業務関連事業所に協力を求め、市と事業所が協定を締結。11/30に協定書締結式を行う予定とし、12月から業務中に高齢者等の異変を察知した場合、通報・連絡体制や連携を取ることで官民協同のもと高齢者等の孤独死の防止を行う。(2/13現在:4件)
高齢者等サポート隊は、4地域の関係団体に説明会を開催し、事業の目的やモデル地域の決定を行っているが、既存関係団体への説明段階で、進捗が遅れている。23年度内に4地域のモデル地域を指定し、個別説明会や養成講座の開催を目指している。

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		963
H24予算額	A	963
H23当初予算額	B	530
H23現計予算額		530
増減額	A－B	433

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		300
従事職員数【人工】		0.30
人件費(人工×8,000千円)		2,400
総事業費:人件費含む(千円)		2,700
活動指標名	高齢者等おしらせ隊協力事業所協定数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	17 単位 事業
単位当たりコスト (円)		158,824

特定財源の状況

事業の目標

持続可能な事業として、また高齢者等の見守り活動を地域住民、行政、民間事業所の官民協働で実施していく予定だが、サポート隊活動の具体的内容や範囲、地域への醸成が今後課題となる。趣旨は理解していただいているものの、必要性に迫られていない地域の醸成をどう図るか、どのようにアピールしていくかが今後の課題・目指すべき事業目標と言える。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(5)“高齢者等サポート隊”モデル 事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市人権施策基本計画

所管課	人権推進課	(市民環境部)

事業の目的

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」及び総合計画に基づき、人権が尊重される社会の実現と、健全で多彩な交流促進に向け、人権問題に関する市民の意識を把握し、地域の実情を踏まえた人権教育及び人権啓発に関する施策を策定する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	7	人権行政推進費
細目	1	人権行政推進費

根拠条例等	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「宇陀市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことを目指す条例」等
総合計画	第4章第1節　誰もが尊重される共生のまちづくり

H24年度事業の概要

宇陀市の現状、市民の意向などを適切に踏まえて、今後の中長期的な人権施策推進の指針となる「宇陀市人権施策基本計画」策定に必要な作業を行う。
平成23年度:市民意識調査の実施、集計、分析　1,754千円
平成24年度:計画素案の作成、審議会への諮問、基本計画策定及び計画書の作成　2,867千円

事業の成果

部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃及び人権を侵害する行為の防止と市民の人権意識の高揚に努め、人権擁護等の施策を総合的かつ計画的に推進することができる。
また、調査結果を基に、職員研修や各種団体の研修に活かす。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		2,866
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	2,867
H23当初予算額	B	1,800
H23現計予算額		1,800
増減額	A－B	1,067

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		1,754
従事職員数【人工】		0.20
人件費(人工×8,000千円)		1,600
総事業費:人件費含む(千円)		3,354
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	事業費/全体事業費	
活動指標の実績	単位	38.0　単位　%
単位当たりコスト　(円)		88,263

特定財源の状況

合併補助金　2,866千円

事業の目標

行政が基本的人権の尊重という目標をしっかり見据えた啓発を継続して、共生のまちづくりを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6. 改革改善プロジェクト
(4) 人権を尊重した宇陀市づくり

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児医療費助成事業(市加算分)

所管課	保険年金課	(市民環境部)

事業の目的

子どもを養育している者に対し当該子どもに係る医療費の一部を助成し、もって子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。
0歳～小学校入学前の乳幼児が対象であり、宇陀市では扶養義務者の所得制限を撤廃して実施している。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　(2)　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞　保険医療費の自己負担額から通院の場合は1医療レセプトあたり月500円を控除した額を、入院の場合は自己負担金全額(食事療養費の自己負担額を除く)を助成する。

＜助成方法＞　原則として国保連合会からの医療情報に基づき事前に登録されている口座へ振り込むが、県外で受診した場合や自動償還を扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書を持って助成金の申請が必要となる。

事業の成果

区　分	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
受給者数 (年度末現在)	36人	32人	32人
助成件数	338件	316件	320件
助成額	1,095,221円	855,690円	853,642円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,092
H24予算額	A	1,092
H23当初予算額	B	1,239
H23現計予算額		1,239
増減額	A－B	▲ 147

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	856	853
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費 (人工×8,000千円)	400	400
総事業費:人件費含む (千円)	1,256	1,253
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	32 単位 人	32 単位 人
単位当たりコスト　(円)	39,250	39,156

特定財源の状況

事業の目　標

①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。
②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。
③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(3) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業

所管課	保険年金課	(市民環境部)

事業の目的

子どもを養育している者に対し当該子どもに係る医療費の一部を助成し、もって子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　(2)　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜通院の場合＞
・対象者　　宇陀市に住所を有する0歳から小学校就学前の子ども
・助成内容　保険医療費の自己負担相当額から1医療レセプト当たり月500円を控除した額を助成
＜入院の場合＞
・対象者　　宇陀市内に住所を有する0歳から中学校卒業時までの子ども
・助成内容　保険医療費の自己負担相当額を全額助成
※食事療養費の自己負担額を除く。

事業の成果

区分			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
受給者数(年度末現在)		0歳～小学入学前	1,379人	1,276人	1,199人
		小学生	―	1,570人	1,500人
		中学生	―	―	800人
助成件数(レセプト単位での件数)			12,508件	13,004件	12,980件
決算又は決算見込額	扶助費	県単事業分	20,995,695円	22,261,738円	21,547,206円
		市単事業分	1,095,221円	1,350,082円	2,806,794円
		小　計	22,090,916円	23,611,820円	24,354,000円
	需用費(支払通知書等印刷代他)		139,702円	100,695円	172,000円
	役務費(自己負担金集計手数料、振込案内通知他)		854,615円	1,009,798円	930,000円
	委託料(システム改修電算委託料)		0円	1,785,000円	0円
	貸付金		138,600円	0円	0円
	償還金(県補助金精算による返還金)		318,714円	738,255円	0円
	合　計		23,542,547円	27,245,568円	25,456,000円

※平成22年10月診療分より小学校卒業時までの子どもの入院医療費自己負担額全額助成。
平成23年4月診療分より中学校卒業時までの子どもの入院医療費自己負担額全額助成。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		12,137
市　債		
その他		2,233
一般財源		17,292
H24予算額	A	31,662
H23当初予算額	B	31,242
H23現計予算額		31,242
増減額	A－B	420

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	27,246	25,456
従事職員数【人工】	1.30	1.30
人件費(人工×8,000千円)	10,400	10,400
総事業費:人件費含む(千円)	37,646	35,856
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	2,846 単位 人	3,499 単位 人
単位当たりコスト　(円)	13,228	10,247

特定財源の状況

奈良県乳幼児医療助成事業補助金
11，924千円

奈良県福祉医療費事務費補助金
213千円

福祉医療費助成制度高額療養費収入等(諸収入)
2，233千円

事業の目標

①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。
②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。
③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(2) 子ども達の中学卒業までの入院医療費を無料化

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供すると共に、支援の必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	次世代育成支援対策交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
- 4500円×190人＝855,000円　助産師会へ委託
- 対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。
- 訪問により支援が必要な家庭に対しては、個別ケース毎に会議を行い、その結果をふまえて支援の内容を検討する。

事業の成果

平成21年度決算　115件　518千円
平成22年度決算　162件　733千円
平成23年度予算　190件　855千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		634
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		221
H24予算額	A	855
H23当初予算額	B	855
H23現計予算額		855
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	733	855
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,533	1,655
活動指標名	達成率(%)	
活動指標の算式	訪問件数/出生者数	
活動指標の実績	98.2 単位 %	100 単位 %
単位当たりコスト　(円)	15,611	16,550

特定財源の状況

次世代育成支援対策交付金　634千円

事業の目標

乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児によるストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(5) こんにちは赤ちゃん事業
(乳児家庭全戸訪問事業)

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児用補助装置貸与事業

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

新生児から6ヶ月未満の乳児を保護養育している人を対象に、チャイルドシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
・8600円×45件×1．05＝406350円
・ダスキンレントオール奈良ステーションと委託契約を結び、申請者には直接事業者からベビーシートが貸与される。

事業の成果

平成21年度決算　47件　427千円

平成22年度決算　44件　398千円

平成23年度予算　40件　362千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		407
H24予算額	A	407
H23当初予算額	B	362
H23現計予算額		362
増減額	A－B	45

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	398	362
従事職員数【人工】	0.08	0.08
人件費(人工×8,000千円)	640	640
総事業費:人件費含む(千円)	1,038	1,002
活動指標名	貸出件数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	44.0 単位 件	40 単位 件
単位当たりコスト　(円)	23,591	25,050

特定財源の状況

事業の目　標

宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用が義務づけられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(7) ベビーシートレンタル事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市児童養護施設支援事業

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

保護者が病気や虐待など特別な事情で児童を入所させて養護し、併せて退所した者に対する相談や自立のための援助に努めている児童養護施設の運営を支援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市児童養護施設支援事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第2章第6節　心豊かな地域福祉の充実

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
賃金　3,984000円
社会保険料　209,059円
年金　360,403円
雇用保険　39，672円
通勤手当　386,400円
合計　4,979,534円

事業の成果

平成23年度より、児童養護施設「大和育成園」において、施設を適切に運営するため新たな職員を雇用するための経費を補助している。
現状では、臨床心理士1名、指導員1名を採用し、子どもの指導や相談にあたっている・。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		4,980
一般財源		
H24予算額	A	4,980
H23当初予算額	B	3,300
H23現計予算額		3,300
増減額	A－B	1,680

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,529
従事職員数【人工】		0.05
人件費(人工×8,000千円)		400
総事業費:人件費含む(千円)		2,929
活動指標名	入所人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	44　単位　人
単位当たりコスト　(円)		66,568

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金　4,980千円

事業の目標

施設の適切な運営のため、新たな職員を雇用し、施設に育つ子ども達の健やかな成長を助ける児童養護施設を支援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(12) 児童養護施設支援事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い品贈呈事業

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い品を支給する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要	・出産祝い品贈呈　950千円 190人×5,000円＝950,000円 5,000円分の図書カードを配布
事業の成果	・出産祝い品の配布 21年度決算 188件分　940千円 22年度決算 160件分　800千円 23年度予算 190件　950千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		950
H24予算額	A	950
H23当初予算額	B	950
H23現計予算額		950
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	800	900
従事職員数【人工】	0.60	0.60
人件費(人工×8,000千円)	4,800	4,800
総事業費:人件費含む(千円)	5,600	5,700
活動指標名	出産祝い贈呈件数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	160.0 単位 件	180 単位 件
単位当たりコスト　(円)	35,000	31,667

特定財源の状況

事業の目標	新生児の誕生を祝い、育児の一助となるよう図書カードを贈呈する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト 【その他の子育て支援予算】

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どものための手当

所管課	子ども支援課(福祉課)	(健康福祉部)

事業の目的

次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて支給する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	2	児童措置費
細目	1	本庁児童措置費

根拠条例等	子どものための手当支給に関する法律
総合計画	基本計画　第2章第5節　子育て支援が充実したまち

H24年度事業の概要

子どものための手当・・・3歳未満　　月額15,000円
3歳以上～小学校修了前(第1子・第2子)月額10,000円
3歳以上～小学校修了前(第3子以降)月額15,000円
中学生修了前　月額10,000円

・平成24年6月分より所得制限
・平成24年度予算　422,460千円

事業の成果

	平成22年度決算	平成23年度予算
子ども手当	408,811千円	528,024千円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		316,716
県　費		52,872
市　債		
その他		
一般財源		52,872
H24予算額	A	422,460
H23当初予算額	B	528,024
H23現計予算額		528,024
増減額	A－B	▲ 105,564

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	408,811	465,524
従事職員数【人工】	1.20	1.20
人件費(人工×8,000千円)	9,600	9,600
総事業費:人件費含む(千円)	418,411	475,124
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	3,059.0 単位 人	3,115 単位 人
単位当たりコスト　(円)	136,780	152,528

特定財源の状況

子どものための手当負担金
国庫　316,716千円
県費　52,872千円

事業の目標

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体でで応援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
【その他の子育て支援予算】

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	保育所等芝生化促進モデル事業(室生こども園)

所管課	子ども支援課(学校教育課)	(健康福祉部)

事業の目的

室生こども園庭を芝生化のモデル園として整備し、園庭を活用した子育て支援活動の展開、保護者同士のコミュニティーの活性化を図り、地域における子育て力の強化や園児の運動能力の向上を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第2章　第5節 「子育て支援が充実したまち」(保育サービスの充実)

H24年度事業の概要

実施場所‥室生こども園　芝生化面積‥800㎡
事業工程‥5月　スプリンクラー等整備工事
6月　ポット苗植え付け(児童・PTA)

科目名等		積算内容	
報償費	技術指導員報酬	100,000	(@10000円×3人×2回・4人×1回)
需用費	消耗品費	30,000	事務費
工事請負費		1,150,000	スプリンクラー等設置工事
原材料費		158,000	芝苗・肥料代等
備品購入費		162,000	芝刈り機等備品購入
合計		1,600,000	

事業の成果

ポット苗方式によりこども園の園庭において低コスト芝生化を推進し、芝生を活用した日常保育やイベント等の開催により、地域や保護者同士の交流の活性化と園児の運動能力の向上、豊かな人間性をもった子どもの成長を育む。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		1,500
市　債		
その他		
一般財源		100
H24予算額	A	1,600
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,600

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

県補助金10／10(上限150万円)
保育所等芝生化促進モデル事業補助金
1,500千円

事業の目標

園児の運動能力の向上、人間性豊かなこどもを育むことを目標とする。また、地域や保護者の交流の場として活用することにり、地域の活性化を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(11) 室生子ども園運動場の芝生化

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域子育て支援拠点事業

所管課	子ども支援課(学校教育課)	(健康福祉部)

事業の目的

乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としている。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	3	児童福祉施設費
細目	3	本庁子育て支援センター費

根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項　◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則
総合計画	第2章　第5節(2)　子育て支援の充実

H24年度事業の概要

毎月テーマを決めて、室内でふれあい遊び・リズム遊び・製作活動・絵本の読み聞かせ等をおこない楽しく交流する。親子教室(0歳児・1歳児・2歳児)を行う。1年間登録制・子育てに必要な情報や知識を教えてもらい、相談に応じてもらう。(保健師、歯科衛生士、栄養士、お話会、民生児童委員等)親子教室の出身者や子育てを終えた地域の方々を募り、子育てボランティアとして関わってもらい、一緒に遊んだり子育ての経験談を話してもらい、育児のヒントにしてもらう。

事業の成果

・昨年度まで地域によってサービスに偏りがみられたが、今年度より、子育て支援センターとして市で一本化となり、公平なサービスが可能となった。
・親子教室(0, 1, 2歳児)では、8クラス140組の登録者。毎週水曜日に各地区を回る出前保育(つどいのひろば)では、1ヶ月平均約33名。すこやかルーム開放では、1ヶ月平均200名の利用者があった。サークルも5組と毎月活発に活動している。
・各幼稚園の未就園児交流会にも参加し、スムーズに入園ができるように支援している。また、療育教室とも連携を取りやすくなり、保護者からのニーズに応えやすくなった。
・子育て講演会の開催、子育て相談も気軽にできるよになり、福祉課、保健センターや学校教育課とも連携会議を通してつながりやすくなった。
・子育てボランティア(現在登録者17名)の充実が図れた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		3,700
県　費		
市　債		
その他		112
一般財源		301
H24予算額	A	4,113
H23当初予算額	B	2,125
H23現計予算額		2,030
増減額	A－B	1,988

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,030
従事職員数【人工】		4.4
人件費(人工×8,000千円)		35,200
総事業費:人件費含む(千円)		37,230
活動指標名	延べ参加親子数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	6,533 単位 人
単位当たりコスト　(円)		5,699

特定財源の状況

国:次世代育成支援対策交付金
3,700

諸収入:サークル等登録料　112

事業の目標

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(8) 子育て支援センター「すくすく」の充実

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業(市加算分)

所管課	保険年金課	(市民環境部)

事業の目的

ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。
　宇陀市では扶養義務者の所得制限を撤廃し、県助成補助対象者以外の方には市単独事業として実施している。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	6	ひとり親家庭等福祉費
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費

根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　(2)　医療保険・医療費助成の推進

H24年度事業の概要

＜助成内容＞　保険診療に係る自己負担額から1医療レセプト毎に月500円(月2週間以上の入院の場合は、1，000円)を控除した額を助成する。ただし、対象者が中学校卒業までの者に対しては、入院医療費の自己負担額(食事負担を除く)を全額助成する。
＜助成方法＞　助成対象者が県内医療機関で受診した場合は、国保連合会から提供された診療情報に基づき、自動的に指定の口座に振り込む。県外医療機関での受診の場合や自動償還を取り扱わない鍼灸等の施術所等で受診した場合などは、自己負担金の領収書をもって申請してもらう。

事業の成果

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
母子	受給者数(年度末現在)	91人	101人	104人
	助成件数	688件	794件	790件
	助成額	2,101,914円	2,020,849円	2,511,836円
父子※	受給者数(年度末現在)	－	－	5人
	助成件数	－	－	10件
	助成額	－	－	54,000円
助成額合計		21,021,914円	2,020,849円	2,565,836円

※父子に対する医療費助成は、平成23年8月診療分から。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,267
一般財源		2,189
H24予算額	A	3,456
H23当初予算額	B	2,011
H23現計予算額		2,011
増減額	A－B	1,445

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,021	2,566
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	3,621	4,166
活動指標名	受給者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	101 単位 人	109 単位 人
単位当たりコスト　(円)	35,851	38,220

特定財源の状況

福祉医療費助成制度高額療養費収入
(諸収入)
1，267千円

事業の目標

近年の家庭を取り巻く環境の多様化に伴い、ひとり親家庭が増加している。一般的に経済的基盤の脆弱なひとり親家庭に対して、病気になったときに安心して病院にかかれるよう医療費の助成を行い、経済的な負担の軽減を図ることで、医療費支払い困難による治療の遅れから病気の重症化を防ぐことを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(3) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈4-1-2-1〉	〈123〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的

65歳以上の高齢者及び60～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	予防接種法　宇陀市インフルエンザ予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

医療機関において各自予約の上、接種を受ける。
対象者:接種当日満65歳以上の方
　　60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方
接種回数:1回
自己負担金1000円以外の費用を補助する。
24年度予算額　需用費　95千円
　　委託料　23,025千円
　　負担金　175千円

事業の成果

22年度接種者数	6,131人
23年度接種者数(24年1月末)	5,989人

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		280
一般財源		23,015
H24予算額	A	23,295
H23当初予算額	B	23,303
H23現計予算額		23,303
増減額	A－B	▲ 8

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	19,883	21,426
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費(人工×8,000千円)	80	80
総事業費:人件費含む(千円)	19,963	21,506
活動指標名	接種者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	6,131 単位 人	5,989 単位 人
単位当たりコスト　(円)	3,256	3,591

特定財源の状況

24年度高齢者インフルエンザ自己負担金予算額(市外接種分)
1,000円　×　280人　＝　280,000円

事業の目標

高齢者のインフルエンザの罹患あるいは重症化を予防する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(3) がん予防対策等の推進

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈4-1-2-1〉	〈123〉

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ヒブワクチン接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

乳幼児の感染症を予防するために、ヒブワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

「ヒブワクチン予防接種事業」：5歳未満の乳幼児を対象に助成する。
8,852円/1回（内自己負担額800円）接種開始月齢により接種回数が異なる。（4回～1回接種）

事業の成果

乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎を予防することができる。
平成22年度対象者　169名(1歳未満)
接種実人数　70名(127件接種)接種率　41.4%
平成23年度対象者　896名(5歳未満)
（見込）接種実人数　161名(304件接種)　接種率　18.0%
決算見込内訳:委託料2,448,000円　印刷製本費16,000円 計2,464,000円

財源の内訳　（単位:千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,221
市　債		
その他		
一般財源		3,221
H24予算額	A	6,442
H23当初予算額	B	7,379
H23現計予算額		7,379
増減額	A－B	▲ 937

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,127	2,464
従事職員数【人工】	0.30	0.10
人件費（人工×8,000千円）	2,400	800
総事業費:人件費含む（千円）	3,527	3,264
活動指標名	接種人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	70 単位 人	161 単位 人
単位当たりコスト　（円）	50,386	20,273

特定財源の状況

子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金
3,221千円

事業の目標

接種率を高め、乳幼児の健康保持・増進に努める。
また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(6) 育児支援策の充実

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-2-1〉　所属 〈123〉

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

子宮頸がんを予防するために、ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努める。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

「子宮頸がん予防ワクチン接種事業」： 中学校1年～高校1年生の女子を対象として助成する。
1人3回接種　15,939円/1回（内自己負担額1,500円）
200人×3回=延600人見込み

事業の成果

子宮頸がん予防ワクチン接種をすることにより、子宮頸がんの発生を未然に防止し、がん発生率を抑制する。
対象者中学1年～高校1年生の女性575人
（見込）接種実人数283人（813件接種）
接種率　49.2%
平成23年8月から接種開始となり6ヶ月の間に計3回接種を行うワクチンであり、年度内に3回完了できていない人が一部あり。
決算見込内訳：委託料（見込）11,739,000円　印刷製本費24,000円　役務費13,000円　計11,776,000円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		4,401
市　債		
その他		
一般財源		4,305
H24予算額	A	8,706
H23当初予算額	B	9,179
H23現計予算額		9,179
増減額	A－B	▲ 473

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		11,776
従事職員数【人工】		0.10
人件費（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む（千円）		12,576
活動指標名	接種人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	283　単位　人
単位当たりコスト　（円）		44,438

特定財源の状況

子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金
4,401 千円

事業の目標

接種率を高め、女性の健康保持・増進に努める。
また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(6) 育児支援策の充実

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-2-1〉　所属 〈123〉

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	小児用肺炎球菌ワクチン接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的

乳幼児の感染症を予防するために、肺炎球菌ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

「小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業」：5歳未満の乳幼児を対象に助成する。（4回～1回接種）11,267円/1回（内自己負担 1,100円）接種開始月齢により接種回数が異なる。

事業の成果

乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある重症な肺炎を予防することができる。
平成23年度対象者896人(5歳未満)
（見込）接種実人数　157人（318件接種）
接種率　17.5%
決算見込内訳：委託料323,000円　印刷製本費16,000円　計3,249,000円

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		4,067
市　債		
その他		
一般財源		4,067
H24予算額	A	8,134
H23当初予算額	B	11,079
H23現計予算額		11,079
増減額	A－B	▲ 2,945

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		3,249
従事職員数【人工】		0.10
人件費（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む（千円）		4,049
活動指標名	接種実人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	157 単位 人
単位当たりコスト　（円）		25,790

特定財源の状況

子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金
4,067千円

事業の目標

接種率を高め、乳幼児の健康保持・増進に努める。
また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
（6）育児支援策の充実

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的

宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供し、疾病の予防を目的として健康診査を実施する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁老人保健健康づくり費

根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する32回の集団検診(セット検診)と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。
子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する10回の集団検診(女性のがん検診)と、市立病院、済生会中和病院で受診する個別検診の体制で実施する。

事業の成果

がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年、十数名のがん確定診断者がおり、早期治療につなげている。

	H21年度受診者	H22年度受診者
大腸がん検診	2,184	2,243
胃がん検診	1,746	1,770
肺がん検診	1,922	1,963
前立腺がん検診	818	876
子宮がん検診	1,016	838
乳がん検診	1,105	901

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,785
一般財源		17,576
H24予算額	A	20,361
H23当初予算額	B	23,760
H23現計予算額		23,760
増減額	A－B	▲ 3,399

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	18,431	23,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	19,231	23,800
活動指標名	受診者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	8,591 単位 人	8,600 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,239	2,767

特定財源の状況

検診自己負担金　2,785千円

事業の目標

市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。

備考

実績・見込については、本庁・大宇陀及び室生の合算
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(3) がん予防対策等の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診推進事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的

大腸がんは、年間の罹患者数10万人、死亡者数4万人とわが国に多いがんである。特に、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。(23年度よりの特別事業)

また、 がん検診の中でも受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)で5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。(21年度からの特別事業)

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁老人保健健康づくり費

根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進　特別予算
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

子宮頸がん、乳がん、大腸がんについて、対象者全員に無料クーポン券と健診手帳を送付し、無料で検診を実施する。
大腸がん検診検診は各保健センターで実施する32回の集団検診(セット検診)と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。
子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する10回の集団検診(女性のがん検診)と、市立病院、済生会中和病院で受診する個別検診の体制で実施する。

事業の成果

子宮・乳がん検診は、21年度からの本事業により受診者が増加

無料クーポン受診者数	子宮がん検診(人)	乳がん検診(人)	大腸がん検診(人)
H21年度	213	398	・・・
H22年度	197	357	・・・
H23年度(H23.12)	190	346	427

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		2,780
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,947
H24予算額	A	6,727
H23当初予算額	B	4,992
H23現計予算額		4,992
増減額	A－B	1,735

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	4,318	4,900
従事職員数【人工】	1.00	0.80
人件費(人工×8,000千円)	8,000	6,400
総事業費:人件費含む(千円)	12,318	11,300
活動指標名	受診者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	554 単位 人	850 単位 人
単位当たりコスト　(円)	22,235	13,294

特定財源の状況

感染症予防事業費等国庫負担金
2,780千円

事業の目標

市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(3) がん予防対策等の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	病院事業特別会計出資金

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的
病院事業に係る一般会計出資金 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	病院費
細目	1	病院費

根拠条例等	地方公営企業法第17条の2
総合計画	基本計画　第2章第2節　地域医療体制の充実

H24年度事業の概要
市民の命と健康を守る宇陀市立病院の新築、医療機器の更新に対する出資 平成23年度に引き続き、外来棟建設及び旧館の解体作業を行う。

事業の成果
平成23年12月に市立病院の第1期竣工式を行い、入院病棟・検査・レントゲン等が供用を開始した。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		416,000
その他		
一般財源		
H24予算額	A	416,000
H23当初予算額	B	174,390
H23現計予算額		174,390
増減額	A－B	241,610

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	371,839	174,390
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費(人工×8,000千円)	80	80
総事業費:人件費含む(千円)	371,919	174,470
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額／全体事業費	
活動指標の実績	25.0 単位 %	11.7 単位 %
単位当たりコスト　(円)	14,876,760	14,911,966

特定財源の状況
合併特例債　416,000千円

事業の目標
本市や奈良県東部地域における医療体制の充実など、安心できる医療環境づくりを進めるため、市立病院の整備を図る

備考
＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安心］ (2) 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈4-1-8-1〉　所属 〈103〉

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する者に対して補助金を交付する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市太陽光発電システム設置補助金交付要綱(現在考案中)
総合計画	基本計画　第1章第1節　自然環境の保全と活用

H24年度事業の概要	住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金交付要綱に基づき、国補助金の交付を受けて、自ら居住する住宅に発電システムを導入した者に交付する。 補助対象者に事業費の10%(上限10万円)相当の商品券を交付する。ただし、1住宅に1回とする。 平成24年度は、20件の範囲で実施する。(先着順)
事業の成果	太陽光発電システムは、自然エネルギーである太陽光だけを使う環境に配慮したシステムである。太陽光発電を取り入れる家庭が増えると、火力発電の負担を軽減できるため、CO2の排出量の抑制に貢献できることになる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,000
H24予算額	A	2,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	2,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目　標	地球温暖化の原因とされるCO2の削減やエネルギー問題への意識高揚を図り、環境に配慮した持続的な発展のため普及を進める。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (7) 地球環境に配慮した施策

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生ゴミ処理機等購入助成事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	一般家庭の生ごみについて、ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」・「コンポスト」の普及に努める。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章第3節　循環型社会の構築

H24年度事業の概要	コンポスト・・・・・・・・10基　30，000円 EMボカシ・・・・・・・・10基　20，000円 生ごみ処理機・・・・・25基750，000円 自主放送や広報等をさらに活用し、事業の啓発活動を計り普及活動に努める。
事業の成果	平成23年度については見込みとして、コンポスト9基・EMボカシ1基・電動式生ごみ処理機4基である。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		800
H24予算額	A	800
H23当初予算額	B	800
H23現計予算額		800
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	164	166
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	1,764	1,766
活動指標名	件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	12.0 単位 基	14 単位 基
単位当たりコスト　(円)	147,000	126,143

特定財源の状況

事業の目　標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (6) 循環型社会の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集団資源(古紙)回収助成事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収制度を実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章　第3節　循環型社会の構築

H24年度事業の概要	宇陀市内の登録団体数は35団体であり集団資源回収の報告は、毎年9月と3月の年2回報告を受け助成金を交付している。平成24年度は、回収量を648，000kgと見込みkg当たり3円の助成金で、1，944千円の予算としている。
事業の成果	平成21年度　623，718kg　助成金……1，871，154円 平成22年度　664，385kg　助成金……1，993，155円

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,944
H24予算額	A	1,944
H23当初予算額	B	1,944
H23現計予算額		1,944
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	1,993	1,944
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	3,593	3,544
活動指標名	回収量	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	664,385.0 単位 kg	648,000 単位 kg
単位当たりコスト　(円)	5	5

特定財源の状況

事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (6) 循環型社会の推進

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的

生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を保持し公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	合併処理浄化槽整備事業費
細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費

根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　題1章第3節　循環型社会の構築　廃棄物等の処理体制の充実

H24年度事業の概要

下水道処理区域の見直しにより、合併処理浄化槽整備区域が拡大されると予想されます。、平成24年度以降も下水道課と調整を図りながら進めていく方向であるが、平成24年度については、自主放送や広報誌への掲載等更なる啓発活動に努める。
5人槽　332，000円×20基＝　6，640，000円
7人槽　414，000円×60基＝24，840，000円

事業の成果

平成22年度の設置数は34基で、整備率は36．36%になる。又、平成23年度の設置数については5人槽が8基、7人槽が28基、10人槽が1基で合計37基の整備となる見込みである。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		10,493
県　費		10,493
市　債		
その他		
一般財源		10,494
H24予算額	A	31,480
H23当初予算額	B	15,658
H23現計予算額		15,658
増減額	A－B	15,822

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	13,256	14,360
従事職員数【人工】	0.60	0.60
人件費 (人工×8,000千円)	4,800	4,800
総事業費:人件費含む (千円)	18,056	19,160
活動指標名	件数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	34.0 単位 基	37 単位 基
単位当たりコスト　(円)	531,059	517,838

特定財源の状況

国費:循環型社会形成推進交付金
10,493千円
県費:合併処理浄化槽設置事業
補助金
10,493千円

事業の目標

生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成23年からの五ヵ年計画により整備率を60%を目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(5) 合併処理浄化槽の整備推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成24年度事業費　300千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	宇陀市における農地の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		300
一般財源		
H24予算額	A	300
H23当初予算額	B	450
H23現計予算額		450
増減額	A－B	▲ 150

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位　戸
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

宇陀市農業支援基金繰入金
300千円

事業の目標	農地の排水を整備し、農産物の生産を拡大する

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除ハウス設置事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章　第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 H24事業費　2,000千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	H23申請者7名 申請面積4031㎡

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,000
一般財源		
H24予算額	A	2,000
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A－B	500

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		1,500
従事職員数【人工】		0.02
人件費(人工×8,000千円)		160
総事業費:人件費含む(千円)		1,660
活動指標名	申請面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	4,031　単位　㎡
単位当たりコスト　(円)		412

特定財源の状況

宇陀市農業支援基金繰入金
2,000千円

事業の目標	雨除けハウスを活用し、施設園芸の利用維持を図る

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自然災害発生に伴う重機借上げ助成事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 平成24年度事業費　600千円 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て
事業の成果	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		600
一般財源		
H24予算額	A	600
H23当初予算額	B	510
H23現計予算額		510
増減額	A－B	90

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		960
従事職員数【人工】		0.02
人件費(人工×8,000千円)		160
総事業費:人件費含む(千円)		1,120
活動指標名	受益戸数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	100　単位　戸
単位当たりコスト　(円)		11,200

特定財源の状況
宇陀市農業支援基金繰入金 600千円

事業の目　標	農地、農業用施設に対する維持管理

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [農林業・商工業の振興] (1) 宇陀市農業支援基金事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要

設置費用の300円／m以内　天井付き囲み柵については、300円／㎡以内を助成する

事業の成果

本事業を利用し、毎年10km以上の防護柵が整備され、鳥獣被害の防止に効果がある。
H21:53件／13km　H22:58件／17km

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,500
一般財源		1,500
H24予算額	A	3,000
H23当初予算額	B	3,000
H23現計予算額		3,000
増減額	A－B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,295	3,000
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	3,895	4,600
活動指標名	設置延長	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	17.0 単位 km	22.9 単位 km
単位当たりコスト　(円)	229,118	200,873

特定財源の状況

宇陀市ふるさと水と土保全基金繰入金
1,500 千円

事業の目　標

農林産物等への被害防止

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農林産物品評会

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

農林産物の生産性及び品質の向上により、農林家の営農意欲の増進を図る。
また、幅広く消費者に宇陀市の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領
総合計画	基本計画　第5章　第1節　(3)農業経営・生産体制の強化　(4)付加価値の高い農産物づくりの推進

H24年度事業の概要

農林家より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。
また、出品された農林産物については、審査をおこない、優秀な農林産物の生産者に対し、表彰を行う。
市内農林業団体の協力により、展示・模擬店などを催す。

事業の成果

平成21年度は、宇陀市内の農林家より192点の出品があり、奈良県知事賞など27名が受賞。
市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安心・安全)などを図ることができた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		196
H24予算額	A	196
H23当初予算額	B	221
H23現計予算額		221
増減額	A－B	▲ 25

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	39	93
従事職員数【人工】	0.10	0.30
人件費 (人工×8,000千円)	800	2,400
総事業費:人件費含む (千円)	839	2,493
活動指標名	農家戸数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	2,407 単位 件	2,407 単位 件
単位当たりコスト　(円)	349	1,036

特定財源の状況

事業の目標

品評会を通して、農林家のより一層の営農意欲と生産性・品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRを行う。

備考

平成22年度は、台風のため中止
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	農業振興整備計画

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

農業振興地域整備計画は、現在、合併以前の旧町村の農業振興地域整備計画に基づき進めておりましたが、奈良県において平成22年12月・農業振興地域整備基本方針の見直しが行われ、見直しに基づき宇陀市の農業振興を図るために必要な事項を定め、地域の施策を計画的に推進し、農業の健全な発展を図ることを目的として宇陀市全域を対象として計画するものであります。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費

根拠条例等	農業振興地域の整備に関する法律第8条
総合計画	基本計画　第5章第1節

H24年度事業の概要

法において、農用地利用計画・農業生産の基盤の整備、開発に関する事項・農用地の保全に関する事項、他を定めるにあたり、基礎資料の作成、農家の意向調査等アンケート調査の実施したうえで整備計画を作成

事業の成果

集団的に農地を将来にわたり優良農地として農業上の利用を確保できることにより、生産の現場が安心して農業を営むことや、生産物の品質向上に取組めるとともに、農地の生産性の向上に向けた各種投資がスムーズに進めることができる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		5,800
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		578
H24予算額	A	6,378
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	6,378

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

合併市町村補助金　5,800千円

事業の目標

平成24年度計画を策定

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等の経費について補助する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	2	数量調整円滑化推進事業費

根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要

米政策改革推進対策を推進するため、事業に要する経費について補助金を交付。

事業の成果

農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費
30,000円
生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費
80,000円
水稲生産実施計画書の作成等に要する経費
445,000円
米の生産調整実施者の確認に要する経費
200,000円
合計
755,000円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		1,092
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	1,093
H23当初予算額	B	1,093
H23現計予算額		1,093
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	853	755
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	3,253	3,155
活動指標名	農家戸数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	2,407.0 単位 戸	2,407 単位 戸
単位当たりコスト　(円)	1,351	1,311

特定財源の状況

数量調整円滑化推進事業補助金
1,092千円

事業の目標

米政策改革を推進するため、宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施する事により水田農業の構造改革を促進する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

河川の上流地域に位置し、傾斜地が多い等の立地特性から農業生産活動等を通じ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮されている。しかし、高齢化が進行するなか、平地地域と比べて農業生産条件が不利な地域があることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等によって、多面的機能の低下が懸念されている。

このため、農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、当該農業生産活動等を行う農業者に対し、直接支払いを実施する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費

根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節　(3)農業経営・生産体制強化

H24年度事業の概要

実施期間　平成22年度～平成26年度
交付対象集落　41集落
交付対象面積　2，502，370㎡
事業費　43，481千円

事業の成果

耕作放棄地の防止等による多面的機能の維持・向上を行った。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		32,326
市　債		
その他		
一般財源		11,155
H24予算額	A	43,481
H23当初予算額	B	43,505
H23現計予算額		43,505
増減額	A－B	▲ 24

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額（千円）	43,505	43,481
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費（人工×8,000千円）	3,200	3,200
総事業費:人件費含む（千円）	46,705	46,681
活動指標名	集落数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	41.0 単位 集落	41 単位 集落
単位当たりコスト　（円）	1,139,146	1,138,561

特定財源の状況

中山間地域等直接支払交付金
32,326千円

事業の目標

耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年間以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4．産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業者戸別所得補償推進事業費

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

農業戸別所得補償制度において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	6	戸別所得補償制度導入推進事業

根拠条例等	奈良県戸別所得補償制度導入推進事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節(1)　農業生産基盤の整備　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要

農業者戸別所得補償制度の実施に必要となる推進活動のうち、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。

事業の成果

H22年度実績
賃金　312,980円
報償費　906,130円
人件費　200,000円
需要費　659,061円
役務費　255,643円
備品費　165,532円
負担金　36,000円
合計　2,535,346円

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		5,406
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,406
H23当初予算額	B	5,406
H23現計予算額		5,406
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,535	2,000
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	4,935	4,400
活動指標名	農家戸数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	2,407 単位 戸	2,407 単位 戸
単位当たりコスト　(円)	2,050	1,828

特定財源の状況

農業戸別所得補償制度導入推進事業補助金　5,406千円

事業の目標

農業者戸別所得補償制度の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続を支援し、奈良地域センター等へ情報を提供する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給や農業の多面的機能は、過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となってきている。このような状況に対応するため、地域の農業者だけでなく、地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参画を得て、これらの資源の適切な保全管理を行うと共に農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進する必要があり、これらの資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業

根拠条例等	農地・水・環境保全向上対策実施要綱 平成21年3月13日付け20農振第1942号
総合計画	

H24年度事業の概要

共同活動
大宇陀… 8組織、交付金6,150,720円(内市負担1,539千円)
菟田野… 1組織、交付金344,840円(内負担87千円)
榛　原… 8組織、交付金5,575,280円(内市負担1,388千円)
室　生… 7組織、交付金4,299,440円(内市負担1,075千円)
計…24組織、交付金16,344,240円 (内市負担4,089千円)

事業の成果

共同活動(集落の草刈り、道路・水路の補修、農業施設の維持管理)
大宇陀区…8組織、交付金 6,150,720円(内宇陀市負担1,537,680円)
菟田野区…1組織、交付金 344,840円(内宇陀市負担86,210円)
榛原区…8組織、交付金 5,549,240円(内宇陀市負担1,387,310円)
室生区…7組織、交付金 4,299,440円(内宇陀市負担1,074,860円)
合　計 …24組織、交付金16,344,240円(内宇陀市負担4,086,060円)

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		140
市　債		
その他		
一般財源		4,089
H24予算額	A	4,229
H23当初予算額	B	4,843
H23現計予算額		4,843
増減額	A－B	▲ 614

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	4,706	4,777
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200
総事業費:人件費含む(千円)	7,906	7,977
活動指標名	地区数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	24.0 単位 集落	24 単位 集落
単位当たりコスト (円)	329,417	332,375

特定財源の状況

農地・水・環境保全向上対策事業費 140千円

事業の目標

本対策に取り組むことにより、地域ぐるみで効果の高い共同活動及び農業者ぐるみでの先進的な営農活動の実施主体として、社会共通資本としての農地・農業用水等の資源を農村環境の保全等にも役立つよう、地域の振興に資するものとする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水と農地活用促進(農業基盤整備)事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

国庫補助土地改良事業の対象とならない小規模な施設を対象とする、遊休農地の発生防止、活用等のための営農条件整備。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	89	水と農地活用促進事業費

根拠条例等	「土地改良法第96条の2」(土地改良事業の開始)
総合計画	基本計画　第5章第1節　(1)農業生産基盤の整備

H24年度事業の概要

宇陀市室生三本松地区
農道ナルミ線
舗装工　L=150m, 用排水路工L=9m

受益面積　4.0ha
受益戸数　25戸

事業の成果

事業で整備することにより、農地の利用集積ができる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,000
市　債		3,000
その他		50
一般財源		101
H24予算額	A	6,151
H23当初予算額	B	17,550
H23現計予算額		17,550
増減額	A−B	▲ 11,399

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		17,400
従事職員数【人工】		0.20
人件費(人工×8,000千円)		1,600
総事業費:人件費含む(千円)		19,000
活動指標名	受益戸数	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	単位	61　単位　戸
単位当たりコスト　(円)		311,475

特定財源の状況

・水と農地活用促進事業県補助金　3,000千円
・過疎債(室生)　3,000千円
・土地改良施設維持管理適正化事業
　分担金　50千円

事業の目標

農地が効率的に作付けできると共に、生産性の向上をはかる。

備考

農道ナルミ線は一定要件農道
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	新規就農者確保事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間(2年以内)及び経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業

根拠条例等	
総合計画	農業の担い手の育成・確保

H24年度事業の概要

新規就農者　9人×1,500,000円(0.5ha以下)＝13,500,000円

事業の成果

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		13,500
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	13,500
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	13,500

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

青年就農給付金　13,500千円

事業の目標

青年の就農意欲の喚起と就農定着

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業(新規着手分)

所管課	地籍調査課	(農林商工部)

事業の目的

宇陀市を区域とする民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費

根拠条例等	国土調査法第6条の4 (事業計画の実施等)
総合計画	基本計画 第3章 第1節 (1)良好な住環境の形成 地籍の明確化

H24年度事業の概要

平成24年度 地籍調査実施地区		
榛原檜牧 第2期地区		
	実施面積	0.97 ㎢
	筆数	324 筆

測量等業務委託料	23,460
機械器具使用料	1,018
消耗品費等	859
推進委員手当	195
合 計	25,532

《檜牧地区全体計画》

平成23年度	第1期地区	0.71㎢
平成24年度	第2期地区	0.97㎢
平成25年度	第3期地区	0.62㎢
平成26年度	第4期地区	0.74㎢
全体面積		3.04㎢

事業の成果

国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手し、現在調査の完了した地区及び調査中の地区数及び面積は、65地区、50.27㎢、進捗率は約22%である。

調査の完了地区では、この事業を実施したことにより土地が保全され①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進 等の効果が得られることになる。

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国 費		
県 費		18,852
市 債		
その他		
一般財源		6,680
H24予算額	A	25,532
H23当初予算額	B	23,591
H23現計予算額		23,591
増減額	A−B	1,941

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		14,539
従事職員数【人工】		1.55
人件費(人工×8,000千円)		12,400
総事業費:人件費含む(千円)		26,939
活動指標名	実施面積	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	単位	0.71 単位 ㎢
単位当たりコスト (円)		37,942,254

特定財源の状況

地籍調査事業費負担金 18,852千円

事業の目標

地籍調査未実施地区182㎢の早期完遂

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(4) 地籍調査の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営で実施。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	1	農業費
目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費

根拠条例等	土地改良法第91条第6項
総合計画	基本計画　第3章第2節　(3)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

県事業費　32,000千円

用地測量・詳細設計業務・用地補償

負担割合　国50%　:　県35%　:　市15%

事業の成果

中山間地域の農林業の生産力の向上、利便性の向上を図り、地域住民等の生活の安定を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		4,800
その他		
一般財源		
H24予算額	A	4,800
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A－B	3,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	1,575	1,000
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費(人工×8,000千円)	160	160
総事業費:人件費含む(千円)	1,735	1,160
活動指標名	受益面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	203.0 単位 ha	203.0 単位 ha
単位当たりコスト　(円)	8,547	5,714

特定財源の状況

過疎債　4,800千円

事業の目標

農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性の向上。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、捕獲による鳥獣被害の防止を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱
総合計画	基本計画　第5章　第1節　(3)農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要

宇陀市の特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例

平成24年度　40,000円×16名＝640,000円
(大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)

事業の成果

実施隊委員任命により、捕獲頭数の増加に繋がった。

H21年度:　イノシシ　103頭、シカ　123頭
H22年度:　イノシシ　272頭、シカ　136頭
H23年度:　イノシシ　48頭、シカ　57頭

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		640
H24予算額	A	640
H23当初予算額	B	640
H23現計予算額		640
増減額	A－B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	640	640
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	2,240	2,240
活動指標名	隊員数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	17 単位 人	17 単位 人
単位当たりコスト　(円)	131,765	131,765

特定財源の状況

事業の目標

効果的な捕獲により、鳥獣被害の軽減を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会がが事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	ソフト事業(補助率:1／2　事業費440万)　ニホンザル群の個体数及び群構成の調査　モンキードッグ育成　追払いグッズの配布　獣肉利用の推進　不要果樹伐採等　ハード事業(補助率:定額　事業費800万)　防除柵設置
事業の成果	モンキードッグ育成:7頭　名張B群:53頭の把握　アライグマ捕獲檻65基の導入

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,100
H24予算額	A	1,100
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目　標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市産木材利用促進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

市民が市内業者により市内で生産された木材を使用した住宅工事を行うことにより、市民の住宅の安全性、耐久性、及び居住性の向上を図り、市民が安心して住み続けられる住まいづくりを進めることにより定住環境の向上に資するとともに、木材需要の大部分を占める住宅工事における市内木材の利用を拡大し、市内の木材・住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市産木材利用促進事業補助金交付要綱(制定予定)
総合計画	基本計画　第3章第1節(1)　第5章第1節(6)　第5章第2節(1)

H24年度事業の概要

宇陀市産木材購入費の1／2まで、上限100，000円を補助する。
住宅新築による構造材の補助　　2件×100，000円
住宅新築による内装材の補助　　2件×100，000円
住宅リフォームによる内装材の補助　6件×100，000円
構造材補助と内装材補助は併用可能とし、その場合は上限20万円とする。
合　計10件1，000，000円

事業の成果

輸入材と国産材の乖離した価格差により低迷した市内木材需要を、木材需要の大部分を占める住宅工事費を補助することにより、その需要を掘り起こし、市内林業の活性化に繋げる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,000
H24予算額	A	1,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費:人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目　標

構造材として宇陀市産木材の使用量　10㎥×2件＝20㎥
内装材として宇陀市産木材の使用量　40㎡×8件＝320㎡

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4．産業振興観光振興プロジェクト
［宇陀市の地域経済活性化］
(3) 宇陀市産木材利用促進助成制度

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈5-2-2-1〉　所属 〈142〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金

所管課	農林課	(農林商工部)
事業の目的	狩猟免許取得により捕獲技術を持つ人物を各地域で育成し、地域ぐるみで効率的迅速な捕獲体制を講じることにより、個体数調整による農地の遊休荒廃化を防止する	

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10，000円／人 平成23年度見込み　27人×10，000円＝270千円
事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある H21:11人 H22:　7人 H23:27人

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		660
一般財源		
H24予算額	A	660
H23当初予算額	B	660
H23現計予算額		660
増減額	A－B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	70	270
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	870	1,070
活動指標名	取得者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	7 単位 人	27 単位 人
単位当たりコスト　(円)	124,286	39,630

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立分)　660千円

事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣駆除個体処分事業委託料

所管課	農林課	(農林商工部)
事業の目的	イノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。	

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	イノシシ・シカ等の大型獣を衛生的に処理するため、室生動物霊園と火葬の単価契約を締結し処分する。
事業の成果	環境、衛生上の軽減

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,350
H24予算額	A	1,350
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		1,350
増減額	A－B	1,350

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		470
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		1,270
活動指標名	処理頭数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	17　単位　頭
単位当たりコスト　(円)		74,706

特定財源の状況

事業の目標	イノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣駆除事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害を防止するため、有害鳥獣を捕獲する

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	イノシシ　158頭×3,000円＝474千円 オスシカ　65頭×5,000円＝325千円 メスシカ　60頭×9,000円＝540千円(7月～3月) メスシカ　40頭×12,000円＝480千円(4月～6月) サル　3頭×20,000円＝60千円 ニホンジカ集中捕獲事業 銃砲所持者を10名前後を同一地区に投入 4回×100，000円／回＝400千円
事業の成果	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた H21捕獲頭数:イノシシ158頭　シカ165頭　サル1頭 H22捕獲頭数:イノシシ413頭　シカ193頭 H23捕獲頭数:イノシシ　81頭　シカ137頭　サル1頭

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		920
市　債		
その他		
一般財源		1,359
H24予算額	A	2,279
H23当初予算額	B	1,559
H23現計予算額		1,559
増減額	A－B	720

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,378	1,559
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000
総事業費:人件費含む(千円)	10,378	9,559
活動指標名	駆除頭数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	606 単位 頭	390 単位 頭
単位当たりコスト　(円)	17,125	24,510

特定財源の状況

ニホンジカ特定鳥獣捕獲管理計画推進事業補助金　920千円

事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金を交付する。奈良県市町村振興臨時交付金を「地域づくり推進基金」として積み立て年次事業事業を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要

事業主体:自治会及び農家組合
補助要件:新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3人以上でわなを管理する。
補助金額:1地区40,000円以内、次年度以降は、20,000円ずつ減額　　17地区×40,000円=680,000円　10地区×20,000円=200,000円　　事業年度:平成22年～平成26年

事業の成果

地域ぐるみで捕獲体制の整備が図られた。
H22:新規5地区
H23:新規5地区　継続5地区

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		880
一般財源		
H24予算額	A	880
H23当初予算額	B	880
H23現計予算額		880
増減額	A−B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	200	660
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,000	1,460
活動指標名	地区数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	5.0 単位 地区	10 単位 地区
単位当たりコスト　(円)	200,000	146,000

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立分)　880千円

事業の目標

地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	猟友会補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図るため、宇陀市猟友会の運営経費について補助する

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市猟友会補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第1節　(5)林業の担い手の育成・確保

H24年度事業の概要	農林業被害低減のため、有害鳥獣捕獲を実施する
事業の成果	有害鳥獣捕獲数 H22:イノシシ380頭　シカ215頭 H23:イノシシ　45頭　シカ137頭

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		66
H24予算額	A	66
H23当初予算額	B	66
H23現計予算額		66
増減額	A－B	0

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	66	66
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費(人工×8,000千円)	160	160
総事業費:人件費含む(千円)	226	226
活動指標名	会員数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	89.0 単位 人	94 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,539	2,404

特定財源の状況

事業の目標	農林業被害低減のため、有害鳥獣捕獲を実施する

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト ［農林業・商工業の振興］ (2) 有害鳥獣対策の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県単有害鳥獣駆除事業補助金

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、捕獲依頼をする猟友会の出動経費について補助する。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章第1節(3)　農業経営・生産体制の強化

H24年度事業の概要	猟銃による捕獲経費への補助 負担割合　猟友会　1／3　　市　1／3　　県　1／3
事業の成果	猟銃捕獲による農林産物の被害を軽減 H22:出動回数27回　延べ人数148人 H23:出動回数44回　延べ人数180人

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		200
市　債		
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	400
H23当初予算額	B	1,090
H23現計予算額		1,090
増減額	A－B	▲ 690

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	216	693
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,016	1,493
活動指標名	出動人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	148.0 単位 人	180 単位 人
単位当たりコスト　(円)	6,865	8,294

特定財源の状況

有害鳥獣補助金　200千円

事業の目標	捕獲による農林産物の被害軽減を図る

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(2) 有害鳥獣対策の推進

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取組(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業等　例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱
総合計画	第5章　第1節　(5)林業の担い手の育成確保　(6)林産物の加工販売、流通の促進　(7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要

森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1／2を補助する。
市では、宇陀市森林組合と室生村森林組合が森林所有者の代理となって交付申請行っている。

全体事業費　29,062千円
うち県費　14,532千円
所有者負担　14,531千円
事業概要　間伐　A＝104ha
作業道開設　L＝2，000m

事業の成果

奈良県実施の造林事業では対象とならない高齢級林(60年生以上)についても間伐等事業の対象となるため、市内山林の間伐等を行うことにより、森林のもつ多面的機能の維持増進を図ることができる。

H23年度実績
間伐　A=16.24ha

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		14,532
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	14,532
H23当初予算額	B	18,662
H23現計予算額		18,662
増減額	A－B	▲ 4,130

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		2,081
従事職員数【人工】		0.40
人件費 (人工×8,000千円)		3,200
総事業費:人件費含む (千円)		5,281
活動指標名	間伐実施面積等	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	16　単位 ha
単位当たりコスト　(円)		325,185

特定財源の状況

美しい森林づくり基盤整備交付金
14,532千円

事業の目　標

地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

適時適切な森林施業が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林施業計画の作成通じた森林整備の推進を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費

根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱
総合計画	第5章　第1節　(5)林業の担い手の育成　(6)林産物の加工販売、流通の促進　(7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要

森林施業計画の認定を受けた森林所有者(団地)の代表と市との間で協定を締結し、対象となる森林面積のうちの積算基礎森林面積(45年生以下の人工林)1haあたり4,000円を交付。

団地数　20団地
積算基礎森林面積　6，499ha
交付対象となる行為　作業道の整備・補修

事業の成果

各団地とも交付金を有効的に活用し、施業実施区域の作業道整備(改良補修活動)を行い、適切な森林整備を実施している。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		19,847
市　債		
その他		
一般財源		6,850
H24予算額	A	26,697
H23当初予算額	B	33,201
H23現計予算額		33,201
増減額	A－B	▲ 6,504

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	30,926	33,201
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200
総事業費:人件費含む(千円)	34,126	36,401
活動指標名	森林面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	6,499.0 単位 ha	6,499 単位 ha
単位当たりコスト　(円)	5,251	5,601

特定財源の状況

森林整備地域活動支援交付金
19,497千円

市町村推進事務費　350千円

事業の目標

森林所有者等による適時適切な施業実施を確保するため、その実施に不可欠な作業道整備等の地域活動を支援する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	樹種転換推進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

県単事業である地域で育む里山づくり事業においては、針葉樹が補助対象にならず、 戦後に植林されたスギ・ヒノキによる、人家周辺の荒廃した里山林の整備が放置されている。当該県単事業要綱においては、ボランティア団体が里山を整備した場合に補助することになっているが、10人以下の団体には機材補助がなく、5人以下の団体には活動費補助がないため、県単事業では拾うことができない、スギ・ヒノキの里山林整備や、少人数の整備活動について、一般財源により補助する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	10	樹種転換推進事業

根拠条例等	宇陀市樹種転換推進事業補助金交付要綱(制定予定)
総合計画	基本計画　第1章第1節(1)　第3章第1節(1)　第3章第5節(2)　第5章第1節(7)

H24年度事業の概要

人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、広葉樹林に転換を行った場合、10アールを最低単位として、その費用を補助する。
スギ・ヒノキ伐採補助:10aあたり30,000円(皆伐)
広葉樹苗木調達補助:10aあたり50,000円以下(500円×100本)
初期機材等配備補助:200,000円

事業の成果

土砂崩壊災害の防止、環境保全林・景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている機能回復、スギ・ヒノキ花粉飛散量の低減をも目指す。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	200
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	200

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

平成24年度では、荒廃した針葉樹里山林について、10a×10箇所＝1haの広葉樹里山林へと樹種転換を誘導する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(6) 土砂災害防止のための山林の樹種転換

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。
森林所有者の事業費負担なし(100%県費)

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費

根拠条例等	奈良県森林環境税条例
総合計画	基本計画　第5章第1節　(7)森林の多目的利用の促進

H24年度事業の概要

事業概要　間伐面積　A＝158ha
事業対象　①人家周辺の山地災害防止に資する区域
②集落水源の集水区域
③近畿・東海自然歩道沿いのバッファゾーン
④室生赤目青山国定公園区域
⑤市が環境保全に重要と位置づける区域
事業内容　上記区域内で10年以上放置された人工林を対象に
40%以上の間伐を実施

事業の成果

平成18年度～22年度の5ヶ年で、市全体で570．02haを実施

間伐実施面積
H18年度　A＝93．40ha
H19年度　A＝138．76ha
H20年度　A＝148．93ha
H21年度　A＝101．06ha
H22年度　A＝90．53ha
H23年度　A≒107．45ha

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		54,620
市　債		
その他		
一般財源		1
H24予算額	A	54,621
H23当初予算額	B	44,970
H23現計予算額		44,970
増減額	A－B	9,651

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	27,374	37,479
従事職員数【人工】	0.40	0.40
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200
総事業費:人件費含む(千円)	30,574	40,679
活動指標名	間伐実施面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	90.5 単位 ha	107 単位 ha
単位当たりコスト　(円)	337,722	378,585

特定財源の状況

施業放置林解消活動推進
事業委託金
54,620千円

事業の目標

奈良県森林環境税により実施している事業もH23年度から2期目(H23～27)に入り、今後も積極的に施業放置林の間伐を実施することで、市内山林の荒廃を阻止し森林の持つ健全な環境保全機能を回復させる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4．産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業

所管課	農林課	(農林商工部)

事業の目的

森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、宇陀市内の森林組合及び認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	86	県産材生産促進事業

根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱
総合計画	第5章　第1節　(5)林業の担い手の育成　(6)林産物の加工販売、流通の促進　(7)森林の多面的利用の促進

H24年度事業の概要

搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う事業体(森林組合・認定事業体)に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。

1m3あたり　県＝2,000円　市＝1,500円を補助
事業量　　V＝1,750m3

事業の成果

未利用となっている間伐材の搬出及び利用促進を図ることができた。

H22年度　V＝980m3
H23年度　V≒2，351m3
※宇陀市森林組合≒2,000m3
室生村森林組合≒351m3

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,500
市　債		
その他		
一般財源		2,625
H24予算額	A	6,125
H23当初予算額	B	8,229
H23現計予算額		8,229
増減額	A－B	▲ 2,104

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,430	8,229
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	5,030	9,829
活動指標名	間伐材材積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	980.0 単位 m³	2,351 単位 m³
単位当たりコスト　(円)	5,133	4,181

特定財源の状況

県産材生産促進事業補助金
3,500 千円

事業の目標

未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
その他農林業予算

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	(通称)ウッピー商品券発行委託事業

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

定住促進奨励金制度、住宅リフォーム助成制度、住宅用太陽光発電システム設置補助金制度、宇陀市産木材利用促進助成制度の利用者に対し、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行し、市内における購買活動の増進、内需振興を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第2節　商工業の活性化

H24年度事業の概要

委託先:宇陀商工会
市内流通商品券発行予定数:20,000枚(10,000,000円分)
予算概要

商品券等印刷費	1,341
郵送料	150
事務費	941
雑費	200
合計	2,632

事業の成果

宇陀限定の商品券を交付することで、宇陀市内の商工業振興がはかれる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,632
H24予算額	A	2,632
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	2,632

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

宇陀市内流通商品券の発行により、購買活動を増進し、市内の地域経済の活性化を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［宇陀市の地域経済活性化］
(1)「ウッピー商品券」の発行

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	観光施設整備工事(サイクリングロード道標設置工事)

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

訪れる観光客や自転車利用者が、迷わず観光名所や観光施設を周遊できるよう、道標を設置し、観光客の受入体制を強化する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興　観光基盤の整備

H24年度事業の概要

設置場所・・・室生地内

予算概要

擬木杭案内板・・・	60本	252,000円
サイクリングコースシール・・・	200枚	100,800円
観光地案内シール・・・	20枚	42,000円
合計・・・		394,800円

事業の成果

道標設置により、安全性・快適性を向上させ、レンタサイクル利用者を促進する。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		197
市　債		
その他		
一般財源		198
H24予算額	A	395
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	395

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

活力あふれる市町村応援補助金
197千円

事業の目標

訪れる観光客やレンタサイクル利用者が、迷わず観光名所や観光施設を周遊できるよう、道標を設置し、観光客の受入体制の強化と周遊時間の短縮、観光客の安全を確保する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	観光施設整備工事(遊休農地景観形成作物栽培)

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

全国的に知名度の高い室生寺周辺の遊休農地を活用し、その農地に景観形成作物を栽培することにより、室生寺、山上公園、むろう地すべり見楽館等への観光客の誘客を図るとともに、景観を活用した地域の魅力づくりを図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興　観光基盤の整備

H24年度事業の概要

栽培地:　室生寺から山上公園付近までの遊休農地
栽培面積:　60ａ
景観形成作物:　ひまわり
予算概要
種子・肥料等:　100,000円
誘客チラシ作成:　50,000円
週辺案内板・道標:　50,000円
農作業手数料等:100,000円

事業の成果

室生寺、山上公園、むろう地すべり見楽館への誘客を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		150
市　債		
その他		
一般財源		150
H24予算額	A	300
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	300

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

活力あふれる市町村応援補助金
150千円

事業の目標

遊休農地の活用及び新たな景観形成により、室生寺周辺並びに室生古道を訪れる観光客の増加を目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	観光施設整備工事(室生小原　極楽寺遊歩道整備)

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

室生小原極楽寺「極楽桜」は、しだれ桜で有名であり、年々観光客が増加している。極楽桜遊歩道を整備し、更なる観光客の誘客を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興　観光基盤の整備

H24年度事業の概要

極楽寺遊歩道整備工事

極楽寺遊歩道及び畦道の整備・・・750,000円
木製手すりの取り付け・・・350,000円
傾斜地の安全対策・・・354,000円
補修箇所の緑地化・・・200,000円
周遊案内板等・・・100,000円

事業の成果

新たな観光地として、観光客の誘客、地域の活性化を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		877
市　債		
その他		
一般財源		877
H24予算額	A	1,754
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,754

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

活力あふれる市町村応援補助金
877千円

事業の目標

極楽桜遊歩道を整備することにより、新たな観光地としてPRを行い、更なる観光客の誘客及び地域の活性化を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	観光施設整備工事(観光案内板設置工事)

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

訪れる観光客が、市内の観光名所や観光施設を周遊できるよう、観光案内板を設置し、観光客の受入体制を強化する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興　観光基盤の整備

H24年度事業の概要

設置場所・・・榛原駅周辺・うだアニマルパーク・室生寺周辺・室生口大野駅周辺・三本松駅周辺・メイプルパーク

予算概要

観光案内板	3枚	79,000円
自立案内板	3枚	268,000円
制作費		315,000円
施工費等		189,000円
合計		851,000円

事業の成果

観光案内板設置により、観光客の安全性・快適性を向上させ、また市内観光地の周遊、レンタサイクル等の利用促進を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		377
市　債		
その他		
一般財源		474
H24予算額	A	851
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	851

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

活力あふれる市町村応援補助金
377千円

事業の目標

訪れる観光客に、点在する観光名所や観光施設を案内板で紹介することにより、一つの観光地に留まらず、市内を周遊させ、新たな観光客の誘致につなげる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	記紀万葉推進事業

所管課	商工観光課	(農林商工部)

事業の目的

平成24年は「古事記」が完成して1300年、さらに平成32年は「日本書紀」が完成して1300年となり、奈良県では、これらの歴史素材を活用した施策を推進している。宇陀市においても、記紀万葉プロジェクト推進庁内会議を立ち上げ、県とも連携し、記紀万葉集を関連づけた事業を展開し、誘客を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	6	記紀万葉推進事業
細目	1	記紀万葉推進事業

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興　観光基盤の整備

H24年度事業の概要

○ホームページ作成費用・・・800,000円
○パンフレット・ルートマップ等刊行物作成費用・・・1,400,000円
○記紀万葉ウォーク(幟)・・・80,000円
○イベント保険・・・20,000円
○貴重な歴史遺産等の展示ケース及び記紀万葉講演会
・・1,700,000円
○PR用シール作成及びキャラクター作成費・・・1,000,000円
○絵画作成報奨費・・・300,000円

事業の成果

身近に広がる古代をテーマに宇陀の魅力を再発見し、宇陀市の活性化や地域経済の振興を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		5,300
H24予算額	A	5,300
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目　標

宇陀の記紀万葉について、職員及び市民に周知し意識を高めていく。
平成24年11月、二週間にわたり、文祢麻呂の骨壷等のレプリカや壁画をなどを展示、また記紀万葉ウォーキングの開催や、講演会、宇陀の記紀万葉をPRし、誘客を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(1)“記紀・万葉”宇陀市プロジェクトの推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持事業　道路舗装等維持補修工事

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

市道1，681路線、総延長732Kmの内、特に生活と密着した道路の維持補修を実施、生活環境の向上を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費

根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節　(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

平成24年度予算概要
宇陀市内における市道で、安心して利用できる道路整備を行う。
特に、年々老朽化している道路構造物で道路表面の舗装補修や道路側溝・街路灯の補修、を実施する。

節	千円
工事請負費	35,500
計	35,500

事業の成果

市民の安全なネットワークの確保。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		35,500
H24予算額	A	35,500
H23当初予算額	B	28,000
H23現計予算額		28,000
増減額	A－B	7,500

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	11,820	25,000
従事職員数【人工】	0.60	0.70
人件費(人工×8,000千円)	4,800	5,600
総事業費:人件費含む(千円)	16,620	30,600
活動指標名	整備延長	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	2,780 単位 m	1,600 単位 m
単位当たりコスト　(円)	5,978	19,125

特定財源の状況

事業の目標

誰もが安全安心で、生き生きと暮らせる地域づくりの推進。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

市道1，681路線、総延長732kmの内、特に生活と密着した道路の維持補修を実施し、生活環境の向上を図る。
市道における道路防護柵、カーブミラーや道路区画線の維持補修を実施し、道路利用者の安全確保を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	2	道路維持費
細目	3	交通安全施設整備費

根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節　(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵(ガードレール)の新設、補修を行う。
また、道路面に於けるセンターライン等の区画線の塗り直しを行う。

需用費　800千円
工事請負費　5,200千円
計　6,000千円

事業の成果

市道利用者の安全確保。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		6,000
H24予算額	A	6,000
H23当初予算額	B	6,000
H23現計予算額		6,000
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	6,000	6,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	6,800	6,800
活動指標名	箇所数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	54.0 単位 箇所	52 単位 箇所
単位当たりコスト　(円)	125,926	130,769

特定財源の状況

事業の目標

市道利用者の安全性、利便性の確保。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(7) 防犯灯、交通安全施設の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道平井比布線

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

県道榛原菟田野御杖線と県道内牧菟田野線を結び、宇陀市の市道として重要な役割を果たす市道平井比布線の舗装路面の痛みがはげしいことから、菟田野平井地内(1000m)の区間において、本事業により計画的に舗装補修などを行うものである。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	11	社会資本整備総合交付金事業(平井比布線)

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度　H23～25年度
(全体事業費　58,000千円)
全体計画の概要　　道路舗装修繕
L(延長)＝1，000m
W(幅員)＝6．0m
平成24年度事業費
31,000千円

節	千円
需用費	534
使用料及び賃借料	366
工事請負費	30,100
計	31,000

事業の成果

宇陀市内、奈良県東部を東西に結ぶ主要動線である平井比布線を補修整備することによって、安全性を向上させた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		18,000
県　費		
市　債		13,000
その他		
一般財源		
H24予算額	A	31,000
H23当初予算額	B	20,480
H23現計予算額		20,480
増減額	A－B	10,520

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		21,000
従事職員数【人工】		0.60
人件費 (人工×8,000千円)		4,800
総事業費:人件費含む (千円)		25,800
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額/全体事業費	
活動指標の実績	単位	36.2 単位 %
単位当たりコスト　(円)		712,707

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金 18,000千円
過疎債 13,000千円

事業の目標

当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道小倉室生線

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

市道小倉室生線は、国道25号線(名阪国道)から国道165号線を経由し国宝である室生寺を結ぶ主要な観光アクセス道路であり、四季を問わず県内外から多くの来訪者の利用がある。
しかしながら、近年の通行車両の大型化等により舗装面の状態が悪く、道路管理者で実施している簡易な補修では対応できない状況にある。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	13	社会資本整備総合交付金事業(小倉室生線)

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度
H22～H26年度(全体事業費200,000千円)
全体計画の概要
工事延長　L=6,300m
道路舗装工事　道路幅員　W=7.0m
H24年度事業費　41,300千円

節	千円
需用費	649
役務費	31
使用料及び賃借料	508
工事請負費	40,100
公課費	12
計	41,300

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		24,000
県　費		
市　債		17,300
その他		
一般財源		
H24予算額	A	41,300
H23当初予算額	B	30,515
H23現計予算額		30,515
増減額	A－B	10,785

事業の成果

宇陀市室生小原～三本松地内の主要路線である小倉室生線を補修整備することによって付近住民及び観光客の安全性を向上させる。

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	8,557	69,507
従事職員数【人工】	0.60	0.70
人件費(人工×8,000千円)	4,800	5,600
総事業費:人件費含む(千円)	13,357	75,107
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額/全体事業費	
活動指標の実績	4.3 単位 %	34.8 単位 %
単位当たりコスト　(円)	3,106,279	2,158,247

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　24,000千円
過疎債　17,300千円

事業の目標

当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-3-14〉　所属 〈181〉

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業　市道小原小倉線

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

市道小原小倉線は、宇陀市室生の東里地域を通る県道都祁名張線から、当路線を通過し市道小倉室生線を経て、名阪国道小倉インターチェンジを結ぶ主要生活道路である。また、農林産物の搬出路として利用されている路線でもある。現道は、幅員が狭く視距も悪い状態にあり、近年自動車の大型化に伴い、車両通行が危険な状態である。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	14	社会資本整備総合交付金事業(小原小倉線)

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度　H24年度
全体計画の概要
工事延長　L=1,020m
　1.5車線的改良工事
　道路幅員　W=6.0m
H24年度事業費　31,200千円

節	千円
需用費	655
委託料	5,100
使用料及び賃借料	245
工事請負費	24,800
土地購入費	250
立木等補償	150
計	31,200

事業の成果

宇陀市室生小原地内の主要路線である小原小倉線を1．5車線化整備することによって付近住民及び観光客の安全性を向上させる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		18,000
県　費		
市　債		13,200
その他		
一般財源		
H24予算額	A	31,200
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	31,200

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金 18,000千円

過疎債 13,200千円

事業の目標

当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈7-2-3-15〉　所属 〈181〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道山辺三赤人橋線

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

市道山辺三赤人橋線は、室生ダムの湖畔に沿って東海自然歩道・深谷龍神渓谷につながるハイキングルートであり、また、室生ダム湖ではヘラブナ・鯉等のつり客、市の運営する赤人霊苑を結ぶ主要生活道路であります。現道は、ダム湖の特徴である幅員が狭く・カーブが多い・視距が悪いと言う状態にあり、開設から約四〇年ほど経過しており、近年特に切土のり面肩先の風化によりオーバーハングとなっている所が多く見受けられ、車両通行が危険な状態となっている。その為大事故に繋がる崩落を未然に解消し、安心安全に通行出来る道路を整備したい。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	15	社会資本整備総合交付金事業(山辺三赤人橋線)

根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

H24年度事業費　25,375千円
全体計画の概要
工事延長　L=20m、H＝23m、A=460㎡

節	千円
需用費	295
使用料及び賃借料	80
工事請負費	25,000
計	25,375

事業の成果

宇陀市榛原山辺三地内の主要路線である山辺三赤人橋線を整備することによって付近住民の通行及びハイキング観光客の安全性を向上させる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		15,000
県　費		
市　債		10,100
その他		
一般財源		275
H24予算額	A	25,375
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	25,375

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金 15,000千円

公共事業等債　10,100千円

事業の目標

当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業(長寿命化修繕計画策定業務)

所管課	建設課	(建設部)

事業の目的

道路交通の完全を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化修繕計画を策定するための点検を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	2	道路橋梁費
目	3	道路新設改良費
細目	93	社会資本整備総合交付金事業(長寿命化修繕計画策定)

根拠条例等	道路法42条(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画　第3章第2節　(1)幹線道路の整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度:H23～H25(全体事業費　15,000千円)
計画の概要:重要路線の橋梁101橋の橋梁点検及び計画策定

H24年度事業費:5,083千円
橋梁長寿命化修繕計画に伴う保守点検委託料(奈良県補完に伴い県に委託予定)

節	千円
需用費	83
委託料	5,000
計	5,083

事業の成果

宇陀市内の重要路線、長大橋の橋梁点検、修繕計画を策定することにより、架け替え、維持補修経費の削減を図り、道路橋梁の安全確保とコスト縮減を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		3,000
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,083
H24予算額	A	5,083
H23当初予算額	B	5,000
H23現計予算額		5,000
増減額	A－B	83

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		4,000
従事職員数【人工】		0.30
人件費(人工×8,000千円)		2,400
総事業費:人件費含む(千円)		6,400
活動指標名	橋梁数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	34.0 単位 橋
単位当たりコスト　(円)		188,235

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
3,000千円

事業の目標

当市で管理する橋梁の安全確保。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(7) 防犯灯、交通安全施設の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	都市計画マスタープラン作成業務委託

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

・都市計画マスタープランは、都市計画の観点から長期的な視点にたって、地域の社会的・経済的情勢に対応しながら、宇陀市総合計画や市街化区域における基盤整備、交通網の整備、田園環境との調和、新興住宅や農村集落の良好な住環境の保全など、宇陀市らしい個性あるまちづくりを進めていくための方針である。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	
総合計画	第3章　第1節　良好な住環境の形成

H24年度事業の概要

・都市計画マスタープラン　3，000千円
・計画書作成
・住民アンケート調査及び分析

事業の成果

・まちづくりを進める指針
　市の現状や市民の意向、まちづくりの主要課題を把握し、将来目標及び将来都市像を示し、市民や行政、地域などが協働のまちづくりを行う指針とする。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		3,000
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	3,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	3,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

・合併市町村補助金　3,000千円

事業の目標

・上位計画の総合計画の理念をふまえつつ、まちづくりのテーマ及び将来都市像をまとめる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	室生口大野駅前整備検討委員会費

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

観光地にふさわしい活力ある駅環境の確保のため、室生口大野駅前広場を整備することにより、大野地区をはじめ室生地域全体の活性化に寄与させることを目的に、駅前広場整備及び周辺地域の土地利用計画等について、検討委員会を設置のうえ検討する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	室生口大野駅前整備検討委員会設置要綱(告示予定)
総合計画	基本計画　第3章第1節　良好な住環境の形成、定住環境の整備

H24年度事業の概要

・駅前整備検討委員会の設置及び開催
　委員構成　有識者、住民代表、交通関係機関、行政など　計20名
　開催数　　4回予定
　経費内訳　報酬　　206千円(行政外15名)
その他　　ワークショップによる意見集約(住民参加)

事業の成果

住民参加による合意形成を図ることによって、より親しみのある駅前広場の整備が図れる。
地域課題に対して自らが政策参加することにより、能動的な地域振興への意識の醸成が図られ、地域の活性化に関心が高まる。
行政、地域お互いが知恵を出し合い、このことをきっかけに将来に向け希望や夢がもてる地域づくりを目指すきっかけとなる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		206
H24予算額	A	206
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	206

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

検討委員会で整備方針の方向付をしながら、さらにワークショップなど住民参加により意見集約を行い、ひいては政策としての熟度の高い整備計画内容にまとめ上げる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	空き家再生等推進事業

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

国土交通省の「空き家再生等推進事業補助金」を活用し、榛原比布地内の旧伊那佐郵便局(昭和9年築)を修復するための民間団体「伊那佐郵人(いなさゆうと)」に対し、補助を行う。
この団体は地元の有志により組織されており、地元物産販売、観光拠点として旧伊那佐郵便局を活用し、地元住民の雇用の場の提供及び来訪者への利便性向上を目的とされてる。
また、地元物産販売にあたっては、特産物を活用した料理の調査研究を食生活推進協議会の協力を得て行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	都市計画審議会条例・宇陀市都市計画等の案の作成手続きに関する条例・奈良県屋外広告物条例・施行規則
総合計画	基本計画　第3章第1節　良好な住環境の形成、定住環境の整備

H24年度事業の概要

補助金を活用し、旧伊那佐郵便局の修復を行う。
修復にあたっては、専門家の指導の元、地域住民をはじめ広く参加者を募集して行う。
完成後は、地元物産販売等を行うが、育児中の母親や、介護等で長時間働くことができない人を中心に雇用し、社会や地域とつながる場を提供する。

事業の成果

建物の修復から活用までの過程を通じて多様な世代が関わることにより、地域住民との交流により地域活性化及び地元雇用の場を提供する。
また、榛原から菟田野への観光ルートの中間拠点として休憩所等に利用できる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		5,000
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		5,000
H24予算額	A	10,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	10,000

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
5,000千円

事業の目標

・地元雇用の場の提供等による地域の活性化
・芳野川サイクリングロードの菟田野方面への中間点として、休憩場所及び観光情報の提供場所を提供する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市道萩原12号線道路詳細設計業務委託

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

・道路整備により、消防車等の緊急車両が通行可能になり、地域住民が、安心・安全な暮らしを確保する。
・榛原駅周辺の整備を行い、関係機関と協働し、にぎわいのある中心市街地を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	
総合計画	第3章　第1節　定住環境の整備

H24年度事業の概要

・道路詳細設計業務
　委託料　3，000千円
　　L＝140m　W＝6．0m

事業の成果

・密集している市街地に於いて、消防車等の緊急車両が通行可能になり、地域住民が安心・安全な暮らしを確保する。
・南都銀行、大和信用銀行、新町郵便局へのアクセス道路として、商業サービス環境の充実とにぎわいの創出が図られる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		1,500
県　費		
市　債		1,400
その他		
一般財源		100
H24予算額	A	3,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	3,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費:人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
1,500千円
合併特例債　1,400千円

事業の目　標

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	近鉄長谷寺7号踏切事前調査業務

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

近畿日本鉄道により、南北に分断されている市街地を結ぶアクセス道路を検討するため、長谷寺7号踏切(下井足)の調査を行い渋滞緩和や、交通安全対策としての代替え道路を整備することにより、生活の利便性の向上を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	
総合計画	第3章　第2節　(2)生活道路の整備

H24年度事業の概要

社会資本整備総合交付金事業
平成24年度　事前調査業務委託　　5,000千円
・現地測量

事業の成果

・近鉄榛原駅北口広場へのアクセス強化と、南口広場の交通渋滞の緩和が図られる。
・長谷寺7号踏切の渋滞緩和・交通安全対策となる。
・市街地の活性化、定住促進・定住環境の整備が図られる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		2,500
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,500
H24予算額	A	5,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,000

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
2,500千円

事業の目標

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	地域活性化推進拠点施設整備事業補助金

所管課	公園課	(建設部)

事業の目的

ワールドメイプルパーク整備工事の完了に伴い、旧宇太小学校跡地は世界のカエデ公園となり、単なる憩いの広場としての公園ではなく、テーマを持った地域独特の生産の場・交流の場・就業の場として地域の活性化に向けた取り組みのできる公園として進めてきている。

そこで、当該公園の持つ特異な性質から、地域住民が中心となった活性化団体へ、公園整備では補完しきれない校舎の再利用を促し、更なる公園機能の充実を図るため、活性化目的に即した校舎の改修等を施し、その活動拠点を構築する目的で必要な経費を補助するものである。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	1	公園費

根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例
総合計画	第1章第5節　公園・緑地の整備

H24年度事業の概要

補助金内訳(単位:千円)

耐震等工事費	17,000
内外装工事費	11,000
その他の経費	2,000
合　計	30,000

事業の成果

かねてから地域住民の思い入れのある校舎の解体は行わず、その校舎の再利用により、当該公園をより一層の愛着で地域に溶け込み、活性化団体の育成をはじめ、カエデを中心とした新たな地域特産品の醸造から、従来からの商工業製品或いは農林産品など、訪れる方々への商品として提供し、類を見ないカエデの学術、研究用施設としても利用し、更には体験や参加をとおして交流の促進を図りつつ、周辺観光地との連携も含め、昼間の流入人口増大が見込め、地域全体への経済効果までもが期待できる.

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		30,000
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		
H24予算額	A	30,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	30,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

市町村合併推進体制整備費補助金
30,000千円

事業の目標

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5. 共に考え行動する「協働」プロジェクト
(7) 市民との協働の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	仮称　ワールドメイプルパーク整備工事

所管課	公園課	(建設部)

事業の目的

少子高齢化により廃校となった旧宇太小学校及び旧宇太保育所を利用し、寄贈を受けた世界のカエデの有効活用により、菟田野を「カエデのまち」としての地域活性に導く取り組みとして、カエデや地元産品の販売、、産業と観光を複合させ、地域住民と都市の子ども達がカエデの観察・育苗などの体験学習をとおして交流を図り、地域への流入人口の増加を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	2	ワールドメイプルパーク整備事業費

根拠条例等	宇陀市古市場地区活性化計画
総合計画	第1章第5節　公園・緑地の整備

H24年度事業の概要

24年度　60,002千円(最終)
イベント広場兼駐車場整備工・校舎解体(1棟)・植栽工・サービス施設一式
工 事 費＝　52,950千円
工事雑費＝　1,652千円
校舎解体費＝5,400千円

事業の成果

総事業費　220,000千円(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金・都市農山漁村総合交流促進施設)
事業期間　平成20年度～24年度の5ヵ年計画事業
事業規模　A＝16,000㎡　内、カエデ展示圃場A＝8,000㎡
整備内容　景観を配慮した公園的整備(展示圃場整備・遊歩道・休憩所・カエデの植栽・灌水設備)・観賞用、育苗用ハウス建築・イベント広場兼駐車場整備等
20年度　60,000千円(21年度へ全額明許繰越)　　0%
21年度　0

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		27,300
県　費		
市　債		31,000
その他		
一般財源		1,702
H24予算額	A	60,002
H23当初予算額	B	60,002
H23現計予算額		
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		100,000
従事職員数【人工】	0.50	1.40
人件費 (人工×8,000千円)	4,000	11,200
総事業費:人件費含む (千円)	4,000	111,200
活動指標名	進捗率(%)	
活動指標の算式	実施事業費／総事業費	
活動指標の実績	単位	46　単位　%
単位当たりコスト　(円)		2,443,956

特定財源の状況

・農山漁村活性化プロジェクト支援
27,300千円
・合併特例債
31,000千円

事業の目標

指定管理者として運営にあたるNPO法人「宇陀カエデの郷づくり」が、22年11月7日に設立。現在はNPOとしての活動及び運営の具体的計画を検討中
この組織により、事業計画に即した交流人口及び地域活性化が容易となる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	商店街街路灯更新事業

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

・老朽化した街路灯を撤去し、デザイン性の高いものにし、商店街のにぎわいを再生する。
・LED電球にすることにより、節電対策を行う。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	3	まちづくり推進事業費
細目	2	榛原地区まちづくり推進事業費

根拠条例等	
総合計画	第3章　第1節(2)定住環境の整備

H24年度事業の概要

・事業費　4，000千円
・街路灯撤去　10基
・街路灯設置　10基

事業の成果

・人々が集い場となる市街地や地域の生活拠点となる商店街の活性化を図るため、また、良好な生活環境の整備・誘導が図られる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		1,600
県　費		
市　債		2,200
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	4,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	4,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	7,945	
従事職員数【人工】	0.50	
人件費 (人工×8,000千円)	4,000	
総事業費:人件費含む (千円)	11,945	
活動指標名	設置基数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	6.0 単位 基	単位
単位当たりコスト　(円)	1,990,833	

特定財源の状況

・社会資本整備総合交付金
1,600千円
・合併特例債
2,200千円

事業の目標

・周囲を広範囲に明るく安全を確保し、景観の向上を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4．産業振興観光振興プロジェクト
［農林業・商工業の振興］
(4) 商店街の街路灯更新事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	都市計画道路　東町西峠線道路整備事業

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的

昭和51年8月6日に都市計画決定を行い、国道165号線萩原交差点から市道玉立2号線(延長1310mの内360m)について、広域的な交通処理機能や市街地の空間形成等に配慮して、都市の骨格となる道路整備を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	3	まちづくり推進事業費
細目	2	榛原地区まちづくり推進事業費

根拠条例等	都市計画法
総合計画	基本計画　第3章第2節　(2)生活道路の整備　道路の安全性・利便性の向上

H24年度事業の概要

・道路整備工事(舗装含む)　L=360m　180,500千円
・ポケットパーク　2箇所　30,000千円
・用地費　70,000千円
・建物補償費　252,500千円
・測量・試験・登記委託料　5,000千円
・付帯工事(単)　20,000千円
・その他(事務費)　4,000千円

事業の成果

近鉄榛原駅北口広場へのアクセス強化と駅南広場の交通渋滞の緩和を図ると共に、道路整備とあわせて、沿道スペースにポケットパークを設置し、歩行空間の整備を行い、交流の場としての活用を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		215,200
県　費		
市　債		333,700
その他		
一般財源		13,100
H24予算額	A	562,000
H23当初予算額	B	478,630
H23現計予算額		478,630
増減額	A－B	83,370

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	345,670	489,010
従事職員数【人工】	2.00	2.00
人件費(人工×8,000千円)	16,000	16,000
総事業費:人件費含む(千円)	361,670	505,010
活動指標名	進捗率(%)	
活動指標の算式	事業費/全体事業費	
活動指標の実績	25.7 単位 %	36.4 単位 %
単位当たりコスト　(円)	14,072,763	13,873,901

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金(旧まちづくり交付金)　215,200千円

合併特例債　333,700千円

事業の目標

近鉄榛原駅を中心とした整備改善をはかり、交通渋滞の緩和、定住促進、安全性、利便性の向上、災害時の避難通路の確保等が図られます。

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(1) 効果的な道路改良と補修の実施

年度 〈2012〉　会計 〈1〉　区分 〈7-4-4-1〉　所属 〈161〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	都市計画道路　墨坂通り線道路改良 (榛原駅前南交差点付近)及び測量業務委託

所管課	都市計画課	(建設部)

事業の目的
・市街地の骨格となる都市計画道路の整備を進めるとともに、宇陀市立病院へのアクセス道路として、また交差点改修を行うことにより、安全で快適な環境づくりを図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	4	都市計画道路費
細目	1	本庁都市計画道路費

根拠条例等	
総合計画	第3章　第2節　(1)幹線道路の整備

H24年度事業の概要
平成24年度予算　　5,000,000円 ・測量業務委託　A＝13,400㎡ 5,000,000円 ・現地測量 ・用地測量(一部)

事業の成果
・市街地において、道路・都市公園等の都市基盤を整備し、合わせて旧榛原町庁舎跡を測量を行い、土地利用についての検討資料とする。 ・今後、宇陀市立病院へのアクセス道路となる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		2,500
県　費		
市　債		2,300
その他		
一般財源		200
H24予算額	A	5,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況
社会資本整備総合交付金 2,500千円 合併特例債　2,300千円

事業の目標

備考
＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (1) 効果的な道路改良と補修の実施

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安心・安全メール配信事業

所管課	危機管理課	(総務部)

事業の目的

近年の普及著しい携帯電話に対して、宇陀市が防災に関する情報や防犯に関する情報をメールで配信することにより、防災行政無線などを一定補完するものとして宇陀市民の安心と安全を確保する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要

気象警報の発表時や災害発生時、宇陀市からの情報について、防災行政無線やCATVの放送を補完するものとして、緊急時の防災情報等のメールを配信システム。
このほかに、㈱NTTドコモを始とした各携帯電話会社が無料で運営する地域緊急情報メールも導入しており、市民だけにとどまらず、宇陀市内を来訪中の方にも、宇陀市の防災に関する情報を携帯電話へ配信する。

(予算細目:使用料及び賃借料)

事業の成果

気象警報の発表や火災時の発災場所の周知など、市民の安心安全に十分寄与するものとなっており、登録者も次第に増加している。
また、このシステムは聴覚に障害のある市民にとって、防災に関する情報を取得するための第一の手段となっている。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		391
H24予算額	A	391
H23当初予算額	B	391
H23現計予算額		391
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	391	391
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費(人工×8,000千円)	80	80
総事業費:人件費含む(千円)	471	471
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	931 単位 人	1,350 単位 人
単位当たりコスト　(円)	506	349

特定財源の状況

事業の目標

配信する情報を整理し、素早い配信に心がけるとともに、登録者の仕分け(市職員、消防団員、一般市民)を厳格にすることで、災害発生時の参集メールや消防団への指示通信のツールとしても活用したい。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(2) 防災・防犯情報等メール配信事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立促進事業

所管課	危機管理課	(総務部)

事業の目的

災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。
このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要

従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、平成24年度末の結成率を50%以上とすることを目指す。

平成23年度末結成率＝40%見込み
(結成率＝自主防災組織加入世帯／宇陀市の総世帯数)

(予算細目:負担金補助及び交付金)

事業の成果

自主防災組織の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。
また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、この自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。

自主防災組織訓練及び相談件数
H22年度＝約50件程度
H23年度＝約60件程度
※相談を含む

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		500
H24予算額	A	500
H23当初予算額	B	300
H23現計予算額		300
増減額	A－B	200

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	360	300
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,160	1,100
活動指標名	加入率(%)	
活動指標の算式	自主防災組織加入世帯／市内全世帯	
活動指標の実績	30.76 単位 %	40.42 単位 %
単位当たりコスト　(円)	37,711	27,214

特定財源の状況

事業の目標

宇陀市民の安心と安全を確保するため、自主防災組織の結成を促進するとともに、消防団等との連携を強化し、災害発生時の地域の減災を目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(4) 自主防災組織の設立促進

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市防災意識啓発事業

所管課	危機管理課	(総務部)

事業の目的

宇陀市民の安心と安全を確保するため、市民の防災意識の高揚を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要

昨年の「東日本大震災」や「紀伊半島大水害」の甚大な被害の発生に鑑み、市民に更なる災害に対する注意を喚起するとともに、災害対応の意識高揚に資するため、平成24年度災害対策費の需用費の中に予算を確保し、防災グッズの配布をおこなう。

事業の成果

市民の防災意識の高揚を図ることで、市民の防災対応能力の向上を図ることが可能となる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		5,280
H24予算額	A	5,280
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,280

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目　標

宇陀市民の安心と安全を確保するため、市民の防災意識の高揚を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(5) 市民の防災意識の啓発

年度 会計 区分 所属
〈2012〉 〈1〉 〈8-1-3-1〉 〈43〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市防災行政無線デジタル化統一事業(実施設計)

所管課	危機管理課	(総務部)

事業の目的

現在、8波を使用している宇陀市の防災行政無線(同報系4波・移動系4波)について、「同じ内容を同時に市民に提供する」ため宇陀市防災行政無線を統一するにあたり、国が推進している電波のデジタル化を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要

検討委員会により、平成23年度内に決定する同報系防災行政無線の方式(屋外拡声子局・個別受信機・防災ラジオなど)をふまえ、平成25年度から実施すべく、平成24年度で実施設計を決定する。
(予算細目:委託料)

事業の成果

使用周波数を統一することにより多様化する災害に対して、市民への素早い周知が可能となるほか、デジタル化することにより、将来は防災行政無線を使用した雨量計テレメーターの設置をおこなって、局地化する豪雨災害にも対応できるものとすることにより、市民の安心と安全を確保したい。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		5,700
その他		
一般財源		300
H24予算額	A	6,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	6,000

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

合併特例債　5700千円

事業の目標

宇陀市民の安心と安全を確保する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(3) 宇陀市全域の防災行政無線の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要

市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯であるもの。
高等学校等・大学入学者
向学心に富み将来のまちづくりに積極的に取り組む意欲がある者
入学支度金の支給(負担金、補助及び交付金)
高等学校又は専修学校　60,000円×19人
大学　120,000円×3人

事業の成果

就学困難な生徒に対し、就学奨励として入学支度金を支給したことにより、教育環境づくりができた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,500
H24予算額	A	1,500
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A−B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	1,260	1,080
従事職員数【人工】	0.03	0.03
人件費(人工×8,000千円)	240	240
総事業費:人件費含む(千円)	1,500	1,320
活動指標名	支給学生数	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	18 単位 人	15 単位 人
単位当たりコスト　(円)	83,333	88,000

特定財源の状況

事業の目標

市の将来のまちづくり活動に取り組み意欲をもってもらい、市の将来を担っていただく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校安心安全メール配信システム運営事業

所管課	教育総務課(学校教育課)

事業の目的	平成22年度きめ細かな臨時交付金事業により、保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを構築した。 今後、研修会を重ね緊急時の対応や情報伝達に利用し行政事務の軽減を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

機器使用料

使用料及び賃借料	523
合　計	523

事業の成果

保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や気象警報時の対応など、双方向の連絡システムの構築ができた。
(加入率79%)

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		523
H24予算額	A	523
H23当初予算額	B	523
H23現計予算額		523
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	508	523
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,308	1,323
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	－ 単位 人	2,431 単位 人
単位当たりコスト　(円)		544

特定財源の状況

事業の目標

今後加入率を100%に近づけ、正確な情報を瞬時に伝達していく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(1) 学校安心安全メール配信事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	夢先生事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	財団法人日本サッカー協会(JFA)の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内全小学校の5年生を対象に開催し、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを児童に伝える。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(特色のある学校教育の推進)

H24年度事業の概要	ユメ先生及びアシスタント費用 50,000円×11クラス=550,000円 ユメ先生及びアシスタント諸経費(交通費・宿泊費) 992,880円
事業の成果	平成22年度に実施した当該事業では、子ども達の心の生育にたいへん優れた事業であると評価を得、各小学校の管理職及び担任教諭からも同様の評価をいただいた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,543
H24予算額	A	1,543
H23当初予算額	B	1,203
H23現計予算額		1,203
増減額	A−B	340

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	822	1,466
従事職員数【人工】	0.17	0.17
人件費(人工×8,000千円)	1,360	1,360
総事業費:人件費含む(千円)	2,182	2,826
活動指標名	受講児童数	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	260 単位 人	255 単位 人
単位当たりコスト　(円)	8,392	11,082

特定財源の状況

事業の目標	当該事業を継続実施することで、宇陀市内の子ども達全てに、夢を持つことの大切さや、目標に向かって努力することの大切さを伝えることで健全な児童の育成を図る。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (13)“夢の教室”(夢先生事業)

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小中学生基礎学力向上事業 （市単独事業）

所管課	教育総務課(教育総務課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

市内小中学生の基礎学力の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第3節　(1)健やかに育つための教育内容の充実

H24年度 事業の概要

市内小中学生の学力向上のため、教育課程、学習指導、その他学校教育の専門的事項に関する事務に従事する指導主事を宇陀市独自で配置する。
①学力向上のための専門的指導
②生徒指導上の課題への対応
③各種教育相談(不登校、就学指導等)
＊宇陀市の現状を分析し、見出した問題点についての解決を図る。
＊各校の代表によるワーキングチームにより、研究協議を行う。
(予定:平成23年度～平成25年度)

事業の成果

平成23年度からの3年間の事業とし、成果を検証する。

財源の内訳 （単位:千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,943
H24予算額	A	1,943
H23当初予算額	B	1,972
H23現計予算額		1,972
増減額	A－B	▲ 29

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		1,800
従事職員数【人工】		0.05
人件費 (人工×8,000千円)		400
総事業費:人件費含む (千円)		2,200
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	事業費/全体事業費	
活動指標の実績	単位	31.7 単位 %
単位当たりコスト (円)		69,401

特定財源の状況

事業の目標

小中学生の基礎学力を向上させること。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	適応指導教室(はばたき)

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要	菟田野地域事務所内の1室にて、教室を運営している。隣の農林会館内に体育館があり、有意義に活動できている。 平成23年度は、週2日(水・金、学校長期休業中は休み)開室しており、児童生徒は、水曜日の午後、金曜日1日通室している。指導員は、心理士2名(水曜日1名、金曜日2名)で行っている。相談業務は、主に水曜日の午前と金曜日に行っている。
事業の成果	22年度までは、0名であったが、23年度は、正式通室は、4名出た。(正式外は、2名)相談業務は、4月から9月(学校長期休業中は除く)で、相談件数10件、回数22回になる。現在、市内学校において、前月に7日以上連続して休んだ児童生徒は、4月から26名いる(単純な病気・入院で、出席が継続している者は除く。)。その中の8名が、教室と関わりがあった。通室が増えたことにより、今後は、通室と相談業務を並行して行う必要がある。特に学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	879
一般財源	
H24予算額	A　879
H23当初予算額	B　879
H23現計予算額	879
増減額	A－B

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	474	879
従事職員数【人工】	0.20	0.30
人件費(人工×8,000千円)	1,600	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	2,074	3,279
活動指標名	相談回数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	21 単位 回	40 単位 回
単位当たりコスト　(円)	98,762	81,975

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立分)　879千円

事業の目標	適応指導教室に来室することで、学習機会を確保することや、学校だけでなく、将来大人になったときへの社会への適応を促すための助力となりたい。
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	通級指導教室(ほほえみ)

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

学校教育法施行規則第140条の規定に基づく指導を行うため。
(小学校・中学校の課程において、特別支援学級の児童・生徒を除く次の障がいに応じ特別の指導を行う必要がある場合は、特別な教育課程によることができる)
①言語障害　②自閉症　③情緒障害　④弱視者　⑤難聴者
⑥学習障害者　⑦注意欠陥多動性障害　⑧その他適当と思われる者

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	学校教育法施行規則第140条:宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要

通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。宇陀市立榛原小学校内に教室を置き、自校及び他校の児童生徒が個々に応じて通級する。専門員(現在1名)は各学校と連携を密にし、指導を進める。通級については、保護者の付き添いを原則とし、親の相談業務も行う。
また、幼児や、特別支援学級在籍児童生徒に対しては、教育相談を行う。

事業の成果

平成23年5月から開始した事業であるが、8月始めの統計で、(3ヶ月ほどの間に、)相談件数　22件、相談回数　78回をかぞえる。また、10月からは、正式通級者が4名出た(自校3名、他校1名)。それ以外に正式ではないが、通室している者は、8名いる。保護者からも、宇陀市で教室ができて本当によかったとの声がある。
今後も子どもたちへの教育支援を保障していきたい。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		4,423
一般財源		
H24予算額	A	4,423
H23当初予算額	B	4,423
H23現計予算額		4,423
増減額	A−B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		4,423
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		5,223
活動指標名	正式通級人数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	4 単位 人
単位当たりコスト　(円)		1,305,750

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立分)　4423千円

事業の目標

平成25年度より、県に指定される通級指導教室を目指す。(奈良県では、今、桜井宇陀東和地区に通級指導教室はありません。)

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教育相談(心理)

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消すること。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節 「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。希望に応じて発達検査を行い、結果を保護者へお知らせし、相談を進める。場所は、菟田野地域事務所内2室使用している。1室は主相談室、1室は、検査及び観察室である。部屋同士が内部でつながっており、廊下へでなくても行き来ができる。親が主相談室で相談を受けていても、子どもが安心して隣の検査室へ移動することができるので都合が良い。また、人目にふれずに相談に行ける所も利用者から評価が高い。
事業の成果	平成23年9月までの相談件数74件。うち、33件が検査を行う。保護者や教職員に対してアドバイスを行う。相談継続希望の方が多い。現在は、保護者の相談だけで予約がいっぱいになるので、教職員だけの相談はお断りしているが、要望は多い。ニーズのある教職員に対しての相談をどうすすめるかと、相談に足が向かない保護者に対してどのようにするかが課題である。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,200
一般財源		44
H24予算額	A	1,244
H23当初予算額	B	1,200
H23現計予算額		1,200
増減額	A－B	44

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	480	1,200
従事職員数【人工】	0.30	0.40
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	3,200
総事業費:人件費含む (千円)	2,880	4,400
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	74 単位 件	110 単位 件
単位当たりコスト　(円)	38,919	40,000

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金(住民生活に光をそそぐ交付金積立分) 1200千円

事業の目標	現在相談に来られる保護者の方から、年度が替わっても、小・中に行っても相談が続けられることが良いとの声を聞いている。今後も継続していきたい。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校耐震補強事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁小学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

耐震補強設計及び判定手数料

榛原小学校(校舎)

手数料	950
委託料	11,210
計	12,160

事業の成果

平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度の耐震化に向け計画的に耐震化を進める

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国費		
県費		
市債		10,600
その他		
一般財源		1,560
H24予算額	A	12,160
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A−B	12,160

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		7,100
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		7,900
活動指標名	耐震補強整備率	
活動指標の算式	補強済棟数／全棟数(19／32)	
活動指標の実績	単位	59.4 単位 %
単位当たりコスト　(円)		132,997

特定財源の状況

合併特例債　10,600千円

事業の目標

平成27年度を目標に市内小学校の校舎・体育館等の耐震補強工事を完了し、安全生の確保と避難所機能の充実を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(16) 教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校外国語活動指導助手設置事業 (市単独事業)

所管課	教育総務課(教育総務課) (教育委員会事務局)

事業の目的

平成23年度から実施された「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられた。
授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第3節　(1)健やかに育つための教育内容の充実

H24年度事業の概要

平成23年度から実施された「新学習指導要領」では、年間35時間の外国語活動が導入された。

市単事業として、昨年度に引き続き、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置する。

事業の成果

平成23年度の取り組みについての各校からの報告
＊ネイティブの発音が児童に力をつけている。
＊英語の聞き取りが進む。
＊外国人との交流は、外国語学習の大いなる動機付けになる。
＊英語だけでなく異文化に関しても具体的に学べる。
など

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,199
H24予算額	A	2,199
H23当初予算額	B	2,065
H23現計予算額		2,065
増減額	A－B	134

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,000
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		2,800
活動指標名	学級数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	24.0　単位　学級
単位当たりコスト　(円)		116,667

特定財源の状況

事業の目標

備考

平成24年度　第5学年…11学級
　　第6学年…13学級
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校就学援助事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要

■特別支援就学奨励費
30人　1,032,750円

■要保護及び準要保護児童就学奨励費
120人　8,053,320円

事業の成果

小学校に就学させるにあたり、経済的理由によって、学用品費や給食費等、学校で必要な費用の支払いに苦慮している保護者に対し、その一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図られる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		361
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		8,726
H24予算額	A	9,087
H23当初予算額	B	8,193
H23現計予算額		8,193
増減額	A－B	894

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	8,155	8,019
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	8,955	8,819
活動指標名	支給児童数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	144 単位 人	144 単位 人
単位当たりコスト　(円)	62,188	61,243

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金
361千円

事業の目標

経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀小学校建設事業

所管課	教育総務課(学校教育課)(教育委員会事務局)

事業の目的

平成22年4月に、大宇陀・守道・田原小学校で再編を行い、3校の児童は大宇陀小学校校舎で学習し、残る野依小学校についても児童数が減少傾向にあることから、大宇陀地域の小学校を1校に再編することとなりました。大宇陀小学校の現校舎は古いもので、築50年を経過しており、耐力度も国の示す基準を下回りっていることから、新しい校舎を建設し、教育環境の整備を図るものです。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	3	学校建設費
細目	1	大宇陀小学校建設費

根拠条例等	小学校設置条例
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(学校統廃合)

H24年度事業の概要

平成24年度内に第1期工事を完了し、平成25年度にかけて解体工事やグラウンド整備等の第2期工事を進める。

事務費他	4,333千円
委託料	12,959千円
工事請負	827,770千円
備品購入	45,000千円

事業の成果

この度の「新大宇陀小学校」の建設は、通学の便宜や地域性、建設費用などを踏まえ、現在と同じ敷地内に新築し、児童が安心安全に、勉学やスポーツに励むことができるよう教育環境の整備を図るとともに、地域の防災拠点としての活用を図ります。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		234,567
県　費		
市　債		583,800
その他		
一般財源		71,695
H24予算額	A	890,062
H23当初予算額	B	683,516
H23現計予算額		683,510
増減額	A－B	206,546

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	27,477	212,400
従事職員数【人工】	1.50	0.20
人件費(人工×8,000千円)	12,000	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	39,477	214,000
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	各年度末執行額／全体事業費	
活動指標の実績	2.0 単位 %	10.7 単位 %
単位当たりコスト　(円)	19,738,500	20,000,000

特定財源の状況

■ 国庫
公立学校施設整備費国庫負担金
(文部科学省) 234,567千円

■合併特例債　583,800千円

事業の目標

平成25年4月の大宇陀地域での小学校統合(1校)に向け、校舎及び体育館等の整備を完了し、25年度内に校舎解体・校庭・道路など周辺環境の整備工事を完了したい。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(16) 教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中学校耐震補強事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁中学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

耐震補強設計及び判定手数料

大宇陀中学校(校舎)

手　数　料	1,250
委　託　料	11,828
計	13,078

事業の成果

平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度の耐震化に向け計画的に耐震化を進める

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		11,200
その他		
一般財源		1,878
H24予算額	A	13,078
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	13,078

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		24,350
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		25,150
活動指標名	耐震補強整備率	
活動指標の算式	補強済棟数／全棟数(13／20)	
活動指標の実績	単位	65.0 単位 %
単位当たりコスト　(円)		386,923

特定財源の状況

合併特例債　11,200千円

事業の目標

平成27年度を目標に市内中学校の校舎・体育館等の耐震補強工事を完了し、安全生の確保と避難所機能の充実を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(16) 教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中学校就学援助事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁中学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要

■特別支援就学奨励費
10人　506,375円

■要保護及び準要保護生徒就学奨励費
90人　9,239,700円

事業の成果

小学校に就学させるにあたり、経済的理由によって、学用品費や給食費等、学校で必要な費用の支払いに苦慮している保護者に対し、その一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図られる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		255
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		9,492
H24予算額	A	9,747
H23当初予算額	B	10,190
H23現計予算額		10,190
増減額	A－B	▲ 443

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	10,207	9,482
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	11,007	10,282
活動指標名	支給生徒数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	106 単位 人	127 単位 人
単位当たりコスト　(円)	103,840	80,961

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金
177千円

要保護生徒援助費補助金
78千円

事業の目標

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する目標とする。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	幼稚園保育料援助費

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

宇陀市立幼稚園の一層の普及充実を図るため、保育料支払いの経済的負担が大きい保護者を対象として、保育料の減免を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
細目	1	本庁幼稚園費

根拠条例等	宇陀市立幼稚園保育料徴収条例第5条、同施行規則第4条
総合計画	基本計画　第4章　第3節 『教育環境の整備・充実』

H24年度事業の概要

全保護者に事業内容案内を配布し、保護者からの申請により、減免を行う。
扶助費　868

72、000×6人	432,000	生活保護者等の全額免除者
20、000×8人	160,000	第1子
46、000×3人	138,000	2人以上就園の第2子
72、000×0人	0	2人以上就園の第3子以降
33、000×2人	66,000	兄・姉が小学校の低学年の第2子
72、000×1人	72,000	兄・姉が小学校の低学年の第3子以降

＊歳入の補助基準額＝656、000円／3×0．7

事業の成果

平成23年度減免認定　8名
家庭の経済的負担軽減を図るため、第1子から減免を実施しており、平成22年度からは兄・姉が小学校低学年にいる第二子の保護者まで範囲を広げ、幼稚園利用保護者負担の経済的軽減を図っている。
小学校就学前の保育所入所者以外の児童に、家庭の経済的な理由で幼稚園就園を断念することなく、幼稚園教育を受ける機会を設けた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		153
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		715
H24予算額	A	868
H23当初予算額	B	993
H23現計予算額		993
増減額	A－B	▲ 125

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	540	364
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費 (人工×8,000千円)	400	400
総事業費:人件費含む (千円)	940	764
活動指標名	減免認定者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	14 単位 人	10 単位 人
単位当たりコスト　(円)	67,143	76,400

特定財源の状況

国庫補助金
幼稚園就園奨励費補助金
153千円

事業の目標

今後も、宇陀市立幼稚園の振興のために減免を行っていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	(教育委員会事務局)

事業の目的

遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
細目	1	本庁青少年活動費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第4節　生涯学習の充実　地域教育力の醸成

H24年度事業の概要

実行委員会補助金　600千円

事業の成果

子どもフェスタ2011(H23年度)
参加者　約1,400人
テーマ　つながれ心！　ひろがれ笑顔！
内　容　紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト
タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇・ジュースの釣堀等

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		600
H24予算額	A	600
H23当初予算額	B	558
H23現計予算額		558
増減額	A−B	42

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	558	558
従事職員数【人工】	0.30	0.30
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400
総事業費:人件費含む(千円)	2,958	2,958
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	1,500 単位 人	1,400 単位 人
単位当たりコスト　(円)	1,972	2,113

特定財源の状況

事業の目標

子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(14)“こどもフェスタ2012”開催費(実行委員会補助金)

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども活動支援事業

所管課	生涯学習課	(教育委員会事務局)

事業の目的

地域教育力再生の契機として、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援することによって、子ども達の学習補助や環境の整備、登下校の見守りなど、子どもたちが安全で安心な学校生活が送れる環境を整えることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
細目	1	本庁青少年活動費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第4節　生涯学習の充実　地域教育力の醸成

H24年度事業の概要

子ども活動支援事業　4中学校区

コーディネーター等謝金	610,000
需用費	463,000
郵送料・保険料	143,000
その他	20,000
合　計	1,236,000

事業の成果

学校支援地域本部事業(H22年度)【国直轄事業】
4中学校区
学習支援活動・登下校安全指導・環境整備等

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		824
市　債		
その他		
一般財源		412
H24予算額	A	1,236
H23当初予算額	B	1,240
H23現計予算額		1,240
増減額	A－B	▲ 4

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		1,240
従事職員数【人工】		0.05
人件費(人工×8,000千円)		400
総事業費:人件費含む(千円)		1,640
活動指標名	ボランティアの登録数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	180 単位 人
単位当たりコスト　(円)		9,111

特定財源の状況

学校地域連携事業補助金
824千円

事業の目標

地域ぐるみで子育てをする体制を構築することで、教育活動の充実や教員が子どもと向き合う時間の拡張により、将来宇陀市を担う健全な青少年の育成を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	文化財ボランティア養成講座事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的
市内には、国・県・市指定の文化財をはじめ、数多くの貴重な文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護・活用を図りまた文化財を保護・活用を図り、又文化財を後世に引き継いでいくために「文化財ボランティア」を養成・育成しその活動を通じて歴史・文化の再認識し文化財愛護思想の高揚、地域文化財の保護・顕彰を図ることを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	文化財保護法　文化財ボランティア養成講座実施要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(4)芸術文化活動の振興

H24年度事業の概要
本年度は、中級講座として開講する。 受講終了分野の、更に深めた講座を開設する。

事業の成果
平成22年・23年の2ヶ年継続講座を開設。 約10名から15名の受講生に参加していただいた。 市内の歴史や、市内に点在する文化財施設や伝承されたものを学んでいただいた。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		12
H24予算額	A	12
H23当初予算額	B	10
H23現計予算額		10
増減額	A－B	2

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		10
従事職員数【人工】	0.60	0.60
人件費 (人工×8,000千円)	4,800	4,800
総事業費:人件費含む (千円)	4,800	4,810
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	15 単位 人	10 単位 人
単位当たりコスト　(円)	320,000	481,000

特定財源の状況

事業の目　標
ボランティア養成講座を修了された方々を市に登録していただき、今後「指導ボランティア」や「運営ボランティア」として活動していただく予定。文化財としての貴重な財産をを受講者から市民への情報発信をしていただき広く市民に周知していく。又、イベント時や講演会時にはお手伝いをしていただく予定です。

備考
＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生染田天神講連歌堂保存修理助成事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

市内の国・県・市指定文化財の保存修理・設備点検・環境整備等の実施に対し助成するもののうち、室生多田にある県指定有形民俗文化財「染田天神講連歌堂」の保存修理工事に対し助成するものである。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例　第10条　　宇陀市文化財保存事業費補助金要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要

染田天神講連歌堂は、県指定文化財である。地元自治会が事業主体となり保存修理工事を実施する。現在の建物は従前の厨子部分を除いて18世紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたもので、江戸時代の建築とされる。H23年度からの継続事業でありH24年度で修理工事は完了する予定である。

事業の成果

染田天神は、室生多田の地侍「多田順実」が南北朝時代禎治年間(1362～1368)に天神御影を感得し居館近くの染田に祀ったのが始まりと伝わる。周辺の都介郷の地侍層は、これを中心として「東山内天神講」を結び法楽連歌として以後天神句会が開催されてきたものである。紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたものと思われる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,533
H24予算額	A	2,533
H23当初予算額	B	3,000
H23現計予算額		2,266
増減額	A－B	▲ 467

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		2,266
従事職員数【人工】		0.50
人件費 (人工×8,000千円)		4,000
総事業費:人件費含む (千円)		6,266
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額/総事業費	
活動指標の実績	単位	47.2　単位　%
単位当たりコスト　(円)		132,754

特定財源の状況

事業の目標

・指定文化財の管理と無形文化財を後世に残していくために、保持団体と連携しながら事業を継続する。
・引き続いて所有者等と連携しながら文化財の適切な保護・管理を実施する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	その他指定文化財保存修理等助成事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	市全体の文化財保護事業をおこなう、国・県・市指定文化財の保存修理、設備点検環境整備、伝承事業等の実施に対し助成するものである。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例　第10条　　宇陀市文化財保存事業費補助金要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	・各地域の歴史、風土のなかで育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又後継者育成を担っている。 ・指定文化財所有者の防災設備点検等建造物保存修理、環境整備等の経費軽減を図る。
事業の成果	○文化財愛護団体等補助金 ・国史跡文祢麻呂墓顕彰会 ・市指定文化財伝承補助金 「大野いさめ踊り」、「室生獅子舞」、「竜口獅子舞」、「田口獅子舞」 ○文化財補助金 文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び活用等の経費並びに防犯上緊急の措置を講じる為の経費(国費・県費を控除した額)を補助するもの。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,386
H24予算額	A	2,386
H23当初予算額	B	807
H23現計予算額		807
増減額	A－B	1,579

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	766	657
従事職員数【人工】	1.50	1.50
人件費(人工×8,000千円)	12,000	12,000
総事業費:人件費含む(千円)	12,766	12,657
活動指標名	補助件数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	26 単位 件	20 単位 件
単位当たりコスト　(円)	491,000	632,850

特定財源の状況

事業の目標	・指定文化財の管理と無形文化財を後世に残していくために、保持団体と連携しながら事業を継続する。 ・引き続いて所有者等と連携しながら文化財の適切な保護・管理を実施する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成 24 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	天然記念物向淵スズラン群落再生事業

所管課	文化財課（文化財保存課）	（教育委員会事務局）

事業の目的	室生向渕にある、天然記念物指定のスズラン自生南限地の保存管理計画を策定し、併せて現状調査等を実施する。計画に基づいて管理目標を定め観察と管理をおこなっていくことを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例
総合計画	基本計画　第5章第3節　（1）文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	平成21年から実施している、分布調査・生育調査・照度調査・土壌調査等を実施し以前より検討中の「向淵スズラン群落管理計画を」作成する。併せて、環境整備工事として柵・見学デッキ・説明板等の設置をする。
事業の成果	指定当時には、面積約3万㎡で、生育密度は密生した場所で1㎡あたり平均45株であった。平成9年には、面積約500㎡で約5，500株が生育し、密度は20から26株であった。平成21年調査では、面積217㎡で約29，000株が生育し、密度は「オクシバ」で約119株、「タヌキヤブ」で約136株であった。個体数及び密度は増加傾向にある。外来種である「ドイツスズラン」の混在も確認され、その都度除去してきた。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		5,000
県　費		1,500
市　債		
その他		
一般財源		3,504
H24予算額	A	10,004
H23当初予算額	B	3,307
H23現計予算額		3,307
増減額	A－B	6,697

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,009	3,307
従事職員数【人工】	1.20	1.20
人件費（人工×8,000千円）	9,600	9,600
総事業費：人件費含む（千円）	12,609	12,907
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実績事業費/全体事業費	
活動指標の実績	16.37　単位　%	18.00　単位　%
単位当たりコスト　（円）	770,250	717,056

特定財源の状況

天然記念物調査再生事業費補助金
国：5,000千円
県：1,500千円

事業の目　標	本事業は、前回調査から10年以上経過しているため、現段階において現状調査し今後スズラン群落を長く保護・管理していくための管理計画を策定。併せて、侵入防止柵・見学デッキ・説明板等の環境整備工事を実施します。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］ (3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う。伝建物以外の建造物等の新築や増改築に際しても計画に定められた基準に従って周囲の伝建物と調和させることを「修景」と言いい、歴史的町並みの構成要素である伝統的建造物の「修理」とともに推進していくことで町並みの価値が高められる。又、地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもってまちづくりに資することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法　宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要

周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」国は特にその価値が高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定、宇陀松山地区は奈良県で二番目に選定された。
保存への取組として所有者等が行う修理・修景事業に大して補助をするものである。
修理　4件

事業の成果

修理・修景補助については、申請された物件について選定委員会を開催し、緊急度・効果の高いものの中から採択をして年間4～6件の工事について補助をおこなっている。建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、事業への関心が高まっており、申請件数も年々増加しており待機状態が続いている状況である。又先進地研修やまちづくり講座等住民に対しての啓発活動を行っている。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		16,973
県　費		3,394
市　債		
その他		
一般財源		13,751
H24予算額	A	34,118
H23当初予算額	B	26,729
H23現計予算額		25,401
増減額	A－B	7,389

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	25,522	25,401
従事職員数【人工】	1.20	1.20
人件費(人工×8,000千円)	9,600	9,600
総事業費:人件費含む(千円)	35,122	35,001
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実績事業費/全体事業	
活動指標の実績	10.12 単位 %	10.07 単位 %
単位当たりコスト　(円)	3,470,553	3,475,770

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区
保存事業費補助金
国　:　16,973千円
県　:　3,394千円

事業の目標

重伝建地区(宇陀松山地区)は、奈良県内3箇所のうちのひとつであり、後世に引き継いでいく貴重な財産であります。観光客数も年々増加傾向にあり、伝建地区の価値の向上を図っていくにあたり、宇陀松山城跡と城下町を一体的に捉え、観光面とリンクさせながら都市間・世代間交流を図り流入人口の増加を目指します。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的

宇陀松山城跡は、豊臣政権のもとで大和郡山城・高取城と並ぶ倭支配の拠点として誕生。宇陀松山城のとくちょうとして、城郭全域に渡って城割を受けていることである。今後の保存整備の方向性を考える場合その範囲、内容等のて把握が必要である。又、城割の時期、内容等が一体として把握できる非常にまれな事例であるので、将来的な城跡の整備・公開等を考慮し保存整備していくことを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要

(1)(A)天守郭・天守郭周辺部・帯郭東側
　(B)本丸平坦部・本丸北斜面の保存整備工事
(2)(C)本丸南東虎口・南虎口部・帯郭西側の保存整備実施設計
(3)7～10次発掘調査報告書の作成

事業の成果

宇陀松山城跡は、平成18年7月に国史跡指定を受け、指定面積は67，667㎡であり、そのうち総石垣つくりの約22，450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		4,875
県　費		1,462
市　債		5,000
その他		
一般財源		1,983
H24予算額	A	13,320
H23当初予算額	B	25,195
H23現計予算額		25,195
増減額	A－B	▲ 11,875

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	15,855	25,195
従事職員数【人工】	1.20	1.20
人件費(人工×8,000千円)	9,600	9,600
総事業費:人件費含む(千円)	25,455	34,795
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実績事業費/全体事業	
活動指標の実績	5.28 単位 %	8.38 単位 %
単位当たりコスト　(円)	4,821,023	4,152,148

特定財源の状況

史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金
国:4,875千円
県:1,462千円

合併特例債　5,000千円

事業の目標

宇陀市のシンボルとして位置づけ、市民相互が集い憩う場として、その活用を図らなければならない。伝建事業や街なみ環境整備事業ともあわせ一体となった事業を展開する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
4. 産業振興観光振興プロジェクト
［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］
(2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	片岡家住宅所蔵文書調査事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	国重要文化財片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当地域の歴史を考える上において重要性な史料であることが判明している。文書は約1万点あるといわれる。これら文書の詳細調査をおこない、整理した上で次代へ引き継げるようこの事業を実施する。調査後の価値判断によって、国または県指定文化財の指定を検討する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	25	片岡家文書調査事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	片岡家に伝わる約1万点の文書(史料)を詳細調査し、整理するものである。文化庁・県教委・片岡家文書調査会(仮称)の指導を得て実施するものである。
事業の成果	国又は県指定文化財の指定を検討する。専門家等の指導、助言を得て文書(史料)類の保管、管理、活用を有効的におこなう。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		1,500
県　費		90
市　債		
その他		
一般財源		1,412
H24予算額	A	3,002
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A−B	3,002

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況
古文書調査補助金 国:1,500千円 県:　90千円

事業の目　標	調査結果は、「片岡家文書調査報告書」としてまとめ、公判する。定期的に片岡家と協力して一般公開を行う。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	図書回収事業

所管課	図書館	(教育委員会事務局)

事業の目的

図書館管理システムを活用し、菟田野地域、室生地域で予約した図書の受け取りや、両地域で図書の返却ができるよう回収ボックスを設置し、定期的に回収を行うことにより図書館利用者の利便性を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	5	図書館費
細目	1	図書館費

根拠条例等	宇陀市図書館条例
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実　及び第4節　生涯学習の充実

H24年度事業の概要

図書回収業務委託料　　408千円

事業の成果

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		408
H24予算額	A	408
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A−B	408

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

事業の目標

市民が"いつでも、どこでも、誰でも"自由に学ぶことのできる環境をめざし、公民館分館での図書の受け取りやで増設した返却ポストで市内のアクセスポイントの拡充することにより、利用者の利便性の向上と、図書館の利用範囲を広め、市民一人ひとりの生涯学習に対する意欲を促す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6. 改革改善プロジェクト
(3) 市立図書館の利便性向上

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀松山地区街なみ環境整備事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	歴史的環境の保存と住環境の整備との共生を図りながら、良好な住環境の整備を図る事業である。文化財としての街なみ景観の保存と住民が居住する住宅地区で実施することを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	6	街なみ環境整備事業費
細目	20	街なみ環境整備事業費

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要	松山地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するための整備、道路電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の改善を行う。 工事概要:道路美装化工事　L=150m
事業の成果	道路美装化・街路灯の整備公園の整備2箇所 生活環境施設の整備2箇所　防災施設の整備 地下式防火水槽1基 消火栓5基 を実施済み

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		16,500
県　費		
市　債		15,000
その他		
一般財源		2,495
H24予算額	A	33,995
H23当初予算額	B	21,895
H23現計予算額		21,895
増減額	A−B	12,100

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	15,743	21,895
従事職員数【人工】	1.20	0.50
人件費(人工×8,000千円)	9,600	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	25,343	25,895
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実績事業費/全体事業	
活動指標の実績	1.57 単位 %	2.18 単位 %
単位当たりコスト　(円)	16,142,038	11,878,440

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
16,500千円
合併特例債
15,000千円

事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は、城下町・商家町であり重要伝統的建造物群保存地区・宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけ事業展開を進めていく。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	(教育委員会事務局)

事業の目的

宇陀の豊かな自然の中で、参加者の健康維持・増進を目指し、参加者相互の親睦と交流を深めると共に、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費

根拠条例等	宇陀市社会体育振興事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第4章第5節　スポーツ・レクリエーションの充実　市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援

H24年度事業の概要

・実行委員会補助金　1,600千円

事業の成果

第4回宇陀シティマラソン(22年度)
・3月11日、東日本大震災の発生により開催を自粛・中止。
・参加者申込者数1,699名(宇陀市民368名・市外1,331名)
　※定員1,500名
・宇陀市特産品販売　・市内温泉のPR(手湯・施設利用割引券)
・市内観光パンフの配布　・元気汁(豚汁)の無料ふるまい
第5回宇陀シティマラソン(23年度)
・近年のマラソンブームに乗じ、22年度と同様の参加申込者数が見込まれる。
・市のPRも22年度と同様に実施すると共に被災地への支援を実施することを検討中。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,600
H24予算額	A	1,600
H23当初予算額	B	1,600
H23現計予算額		1,600
増減額	A−B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	1,080	1,600
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	5,080	5,600
活動指標名	参加者数	
活動指標の算式	−	
活動指標の実績	1,699 単位 人	1,500 単位 人
単位当たりコスト　(円)	2,990	3,733

特定財源の状況

事業の目標

参加選手やボランティアスタッフ(約350名)が、「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンに、本大会を通じて、互いの親睦を図り、市の一体感を醸成していくと共に、市外また全国より多数の参加選手を迎え、市総合計画「まちづくり基本方針」において掲げられている「交流人口の増加」にも貢献していくことを目標とする。

備考

H22年度については、大会中止となったため、活動指標の実績は参加申込者数とした
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5. 共に考え行動する「協働」プロジェクト
(7) 市民との協働の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還(元金)

所管課	財政課	(企画財政部)

事業の目的

宇陀市が過去に発行した地方債、または、前年度発行見込額に対する償還額の適正な管理を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	11	公債費
項	1	公債費
目	1	元金
細目	1	元金

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第6章第4節　行財政改革の推進

H24年度事業の概要

	元金
旧大宇陀	423,027
旧菟田野	333,936
旧榛原	666,502
旧室生	671,438
宇陀市	974,773
計	3,069,676

事業の成果

当該年度
発行額を年間償還額以下に抑制しているため年々減少している。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,069,676
H24予算額	A	3,069,676
H23当初予算額	B	3,334,463
H23現計予算額		3,334,463
増減額	A－B	▲ 264,787

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,885,100	3,335,022
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	3,886,700	3,336,622
活動指標名	市民1人あたり償還額	
活動指標の算式	償還元金／(国勢人口)	
活動指標の実績	34,233 単位 人	34,233 単位 人
単位当たりコスト　(円)	113,537	97,468

特定財源の状況

事業の目標

平成24年度元利で約36．5億円、以降35億円半ばで推移
平成28年度で32億円を目指す。

備考

目・・・元金、利子、公債諸費
＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6．改革改善プロジェクト
(6) 歳出面からの改革
改善の取組み

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公債費償還(利子)

所管課	財政課	(企画財政部)

事業の目的

宇陀市が過去に発行した地方債、または、前年度発行見込額に対する償還額の適正な管理を行う。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	11	公債費
項	1	公債費
目	2	利子
細目	1	利子

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第6章第4節　行財政改革の推進

H24年度事業の概要

	利子
旧大宇陀	47,312
旧菟田野	47,464
旧榛原	78,434
旧室生	62,908
宇陀市	178,280
据置利子	64,270
一時借入金	1,000
繰替運用利子	2,000
計	481,668

事業の成果

当該年度
発行額を年間償還額以下に抑制しているため減少傾向にある。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,068
市　債		
その他		
一般財源		478,600
H24予算額	A	481,668
H23当初予算額	B	510,963
H23現計予算額		510,963
増減額	A－B	▲ 29,295

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	517,045	469,353
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	518,645	470,953
活動指標名	市民1人あたり償還額	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	34,233 単位 人	34,233 単位 人
単位当たりコスト　(円)	15,150	13,757

特定財源の状況

同和対策事業債利子補給金　3,068

事業の目標

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
6. 改革改善プロジェクト
(6) 歳出面からの改革
改善の取組み

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	新規	事業名	高齢者等介護予防体操事業

所管課	介護福祉課(長寿介護課)	(健康福祉部)

事業の目的

要支援・要介護者数の増加に伴い、寝たきりや認知症防止のために、高齢者用の介護予防体操を創作し、身近なところで活用していただくことで、要支援・要介護者数の増加と介護給付費の抑制を図る。

介護保険事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	4	地域支援事業費
項	1	介護予防事業費
目	2	一次予防事業費
細目	1	本庁事業費

根拠条例等	
総合計画	第2章 いきいきと健やかな安らぎのあるまち 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち (2)高齢者福祉サービスの充実

H24年度事業の概要

介護予防に必要な筋力や心肺機能、脳内機能の活性化に有効な体操を創作してもらい、一般高齢者にうだチャン11による放映やいきいきサロンなど身近な集会所等で体操を活用してもらうことで、心身機能の向上を図ります。また、介護予防体操のDVDを作製し、老人クラブや各種サロンなどにも活用してもらう予定。

事業の成果

要支援・要介護者数の増加と介護給付費の抑制

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		
使用料		
国 費		68
県 費		34
市 債		
その他		136
一般財源		35
H24予算額	A	273
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A−B	273

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト (円)		

特定財源の状況

地域支援事業国庫補助金 68千円

地域支援事業県補助金 34千円

一般会計繰入金 136千円

事業の目標

一般高齢者から要支援・要介護にならないための介護予防と介護給付費の抑制を図る。

備考

<予算案のポイント>
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(7) 高齢者等介護予防体操事業

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 介護保険事業特別会計

事業区分	新規	事業名	高齢者等見守り支援事業(コールセンター方式)

所管課	介護福祉課(長寿介護課)	(健康福祉部)

事業の目的

高齢者の住み慣れた地域における継続した生活を支援するため、見守りが必要な高齢者等に対して、通報装置(以下「装置」という。)を利用した高齢者等の相談に対する助言、緊急時の通報その他の支援を行うことを目的とする。

介護保険事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	4	地域支援事業費
項	2	包括的支援事業・任意事業費
目	2	任意事業費
細目	1	任意事業費

根拠条例等	
総合計画	第2章　いきいきと健やかな安らぎのあるまち　第3節　高齢者が安心して暮らせるまち　(2)高齢者福祉サービスの充実

H24年度事業の概要

見守りが必要な高齢者等に対し、緊急時や相談を行なうための装置を貸与することにより、24時間体制でコールセンターにつながり、緊急連絡や相談ができるシステムで、コールセンター職員から事前に登録された親族や協力員、消防署等に連絡する。また、平時においても、安否確認(お元気コール)や健康・介護相談を専門職員が対応する予定。

事業の成果

現在、地域に協力員(3名以内)を設置し、緊急通報が協力員に転送される緊急通報装置貸与事業がある。近年、協力員の高齢化や誤報等による送信等で協力員の担い手不足も懸念されている。また、緊急通報装置はIP電話の設置が不可能であるが、このコールセンター方式では、双方向となるため、対応が可能となる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金	
使用料	
国　費	230
県　費	115
市　債	
その他	115
一般財源	116
H24予算額	A　576
H23当初予算額	B
H23現計予算額	
増減額	A－B　576

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

地域支援事業国庫補助金　230千円

地域支援事業県補助金　115千円

一般会計繰入金　115千円

事業の目標

地域で見守っている協力員方式の良さを残しながらも、見守りが必要な高齢者等の孤独や孤立を防ぎ、緊急時の装置による異変連絡により、高齢者等の孤独死の防止を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(6) 高齢者等見守り支援事業
(コールセンター方式)

年度 〈2012〉　会計 〈11〉　区分 〈1-2-1-10〉　所属 〈501〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀簡易水道統合整備事業

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的

心の森福祉ゾーン一帯は、丘陵地に位置していることから、中央簡易水道区域としては水圧・水量共に日常苦慮している状況にあり、一時的に南部簡易水道区域からの水により補充している。この地域周辺の水量、水圧不足を早期に解消するため中央・東部簡易水道を連絡管にて結び水道施設改善整備を行う。

簡易水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要

①水道送水管埋設工事
　国道166号線に埋設φ75　L=320m
②舗装復旧工事
　舗復旧面積　A=2，400㎡

事業の成果

平成22年3月に事業認可を得ました中央・東部簡易水道区域は、ひとつ大宇陀簡易水道事業給水区域となった。福祉ゾーンとしての施設をより充実し安全・安心な水が安定して供給されるようになり、災害時の避難場所としての機能をもつ貯水槽も建設された。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		4,250
県　費		
市　債		12,700
その他		50
一般財源		
H24予算額	A	17,000
H23当初予算額	B	18,000
H23現計予算額		18,000
増減額	A－B	▲ 1,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	36,400	18,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費 (人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む (千円)	40,400	22,000
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	当該年度実施額/全体事業費	
活動指標の実績	34.0 単位 %	17 単位 %
単位当たりコスト　(円)	1,188,235	1,294,118

特定財源の状況

簡易水道再編推進事業補助金
4,250千円

簡易水道事業債
12,700千円

簡易水道事業基金
50千円

事業の目標

心のもり福祉ゾーン一帯の水圧・水量不足の解消。南部簡易水道施設の稼働率を100%を正常な70%に戻す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2) 水道給水区域の拡大

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	室生中央簡易水道統合整備事業(大野三本松・古大野)

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的

奈良県水道局は、平成26年度に室生大野・三本松へ県営水道を送ることが現実となった。このことから室生川の水利権が自動消滅する暫定水利であることや、内山浄水場の老朽化に伴う大改造に多大な経費を費やす必要がなくなったこと等により、三本松に受水池を建設し県営水道に切替え、古大野飲料水供給施設と統合整備することとした。

簡易水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要

①受水池造成工事　A＝900㎡

②受水池進入路工事　L=720m

③配水管埋設工事　L=720m

事業の成果

現在、宇陀川と室生川を原水として内山浄水場で水をつくり、三本松配水池にポンプ加圧して溜めています。これを県営水道の水源に切り替えることにより浄水場の運転経費及び維持管理経費削減につながります。古大野飲料水供給施設においてもこの給水区域と統合することにより、室生中央簡易水道区域として安全・安心な水が安定的に供給できる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		28,750
県　費		
市　債		86,200
その他		40,050
一般財源		
H24予算額	A	155,000
H23当初予算額	B	25,970
H23現計予算額		25,970
増減額	A－B	129,030

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,993	25,970
従事職員数【人工】	0.25	0.25
人件費(人工×8,000千円)	2,000	2,000
総事業費:人件費含む(千円)	4,993	27,970
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	当該年度実施額/全体事業費	
活動指標の実績	1.0 単位 %	7 単位 %
単位当たりコスト　(円)	4,993,000	3,995,714

特定財源の状況

簡易水道再編推進事業補助金　28,750千円

簡水債　43,100千円

過疎債　43,100千円

簡易水道事業基金繰入金　40,050千円

事業の目標

簡易水道各施設の維持管理経費の削減。
宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2) 水道給水区域の拡大

年度 〈2012〉　会計 〈11〉　区分 〈1-2-1-10〉　所属 〈501〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	松井簡易水道事業

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的

当地域は、井戸及び取り水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず苦慮しているところです。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保することができ生活環境の改善が図られる。

簡易水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要

①大熊地区給配水管」工事
　HPPE　φ75　L=820m　φ40　L=141m
　消火栓　2基　　給水戸数　4戸
②大熊地区給配水管」工事
　HPPE　φ75　L=942m　φ40　L=149m
　消火栓　2基　　給水戸数　5戸

事業の成果

給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。安全で安心して飲める水を安定したかたちで供給する。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		3,150
使用料		
国　費		12,520
県　費		
市　債		18,400
その他		230
一般財源		
H24予算額	A	34,300
H23当初予算額	B	42,344
H23現計予算額		42,344
増減額	A－B	▲ 8,044

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	47,760	42,344
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費 (人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む (千円)	51,760	46,344
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	当該年度実施額/全体事業費	
活動指標の実績	1.0 単位 %	2 単位 %
単位当たりコスト　(円)	51,760,000	23,172,000

特定財源の状況

簡易水道施設等整備費補助金　12,520千円
簡易水道事業債　9,200千円
辺地債　9,200千円
工事負担金　3,150千円
簡易水道事業基金繰入金　230千円

事業の目標

平成23年度に県道佐倉大宇陀線の大熊から佐倉峠まで幹線管路を埋設しますとメイン管が全て整備されたことになり、続いて大熊集落地内へ配水管を延ばし各戸に給水する。今後は宇賀志、東平尾、下片岡、上片岡、佐倉地区の各集落へと加入率の高い地域へ給水施設整備する予定であり、水量の安定と安全な水質の確保を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2) 水道給水区域の拡大

年度 〈2012〉　会計 〈11〉　区分 〈1-2-1-10〉　所属 〈501〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	田原簡易水道事業

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的

当田原地区は、井戸及び取り水を生活用水として使用しています。また、渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量が得られず生活に影響を及ぼしている状況にあります。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水を確保することができ生活基盤の改善が図れる。

簡易水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	2	施設整備費
目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費

根拠条例等	水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要

①県道佐倉大宇陀線の下片岡～白鳥居区間
L=1,040m　給水戸数 5戸　を実施する。

事業の成果

水道未普及地解消事業により生活環境の改善、公衆衛生の向上が図られ水道施設整備によって防災面でも拡充されてきた。

財源の内訳 (単位:千円)

分担金		1,750
使用料		
国　費		14,400
県　費		
市　債		21,600
その他		1,250
一般財源		
H24予算額	A	39,000
H23当初予算額	B	34,878
H23現計予算額		34,878
増減額	A－B	4,122

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	39,192	34,878
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	43,192	38,878
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	当該年度実施額/全体事業費	
活動指標の実績	5.0 単位 %	3.0 単位 %
単位当たりコスト (円)	8,638,400	12,959,333

特定財源の状況

簡易水道施設等整備費補助金 14,400千円
簡易水道事業債 21,600千円
工事負担金 1,750千円
簡易水道事業基金繰入金1,250千円

事業の目標

守道、山口、白鳥居、上品、下品、和田地区は、水道未整備地区であり井戸原水の汚染や枯渇により毎日の生活に不安がつきまとっております。くらしの安心を守るため水量の安定と安全な水質を確保するため、水道未普及地解消事業のメニューから衛生的な飲料水導き住民の生活基盤の向上と地域の振興を図るものである。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2) 水道給水区域の拡大

年度 〈2012〉　会計 〈12〉　区分 〈1-2-1-1〉　所属 〈162〉

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	マンホールポンプ等新設・更新工事

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

緊急輸送路で更新が必要なマンホール鉄蓋を優先的に取替える。また、管路整備済区域のなかで、マンホールポンプ未設置区域にポンプを設置し、供用区域を拡大する。
さらに、老朽化が進んだマンホールポンプの更新、第二中継ポンプ場高圧受電設備の更新などを実施し管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

①菟田野地区駒帰マンホールポンプ設置
②大宇陀地区岩室マンホールポンプ更新
③大宇陀地区三和湯下マンホールポンプ更新
④第2中継ポンプ場の受電設備更新
⑤大宇陀地区マンホール鉄蓋取替

事業の成果

①下水道の供用が可能になる。
②ポンプ故障による事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
③ポンプ故障による事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
④第2中継ポンプ場での事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
⑤緊急輸送路の安全性の確保と向上を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		8,650
県　費		
市　債		8,650
その他		
一般財源		
H24予算額	A	17,300
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	17,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金	8,650千円
公共下水道債	6,150千円
過疎対策事業債	2,500千円

事業の目標

地域の実情に応じた下水道事業の整備、更新を計画的に実施することにより、宇陀川流域における公共水域の水質保全に寄与する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	天満台地区長寿命化布設管更新業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

老朽化が進んでいる天満台地区の下水道管の長寿命化計画書に基づき、管路更新工事を計画的に実施し、管路の長寿命化及び不明水を排除することにより、管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

全体計画年度　　H22年度～30年度
全体計画の概要　　長寿命化対策管路更新工事
　　工事延長L＝1，200m
H24年度の事業費　　実施設計　5,000,000円

事業の成果

宇陀川処理区天満台地区長寿命化対策の実施率を向上させつつ、既設管路の長寿命化を得る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		2,500
県　費		
市　債		2,500
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	5,247	3,728
従事職員数【人工】	0.23	0.24
人件費 (人工×8,000千円)	1,840	1,920
総事業費:人件費含む (千円)	7,087	5,648
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	年度事業費／全体事業費	
活動指標の実績	5.4 単位 %	3.8 単位 %
単位当たりコスト　(円)	1,312,407	1,486,316

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　2,500
公共下水道債　2,500

事業の目　標

事故の未然防止及びライフスタイルコストの最小化を図ることを目的に施設の健全度点検調査により計画を策定し、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	第2中継ポンプ場長寿命化計画策定業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

老朽化が進んでいる天満台地内の第二中継ポンプ場を調査・診断し、計画的に設備の更新をし、管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度　H24年度～H29年度
全体計画の概要　長寿命化計画策定
第二中継ポンプ場の土木・建築機械設備・建築電気設備・機械設備・電気設備
6工種1式
H24年度の事業費　計画書策定委託5,900,000円

事業の成果

既設第二中継ポンプ場機能の長寿命化を図ることにより、天満台地区の健全な汚水排出を延命できる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		2,950
県　費		
市　債		2,950
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,900
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,900

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金	2,950
公共下水道債	2,950

事業の目標

事故の未然防止及びライフスタイルコストの最小化を図ることを目的に施設の健全度点検調査により計画を策定し、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	管渠布設にかかる調査業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

松井地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施し宇陀川流域における公共水域の水質保全に寄与する。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

全体計画年度　H24年度～H27
全体計画の概要　ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査2箇所 φ66mm　φ86mm　L＝10m
H24年度の事業費　1,800,000円

事業の成果

市街化区域内であり未整備区域である松井地区の下水道整備推進に伴う基礎調査となる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		900
県　費		
市　債		900
その他		
一般財源		
H24予算額	A	1,800
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　900千円
公共下水道債　500千円
過疎債　400千円

事業の目標

地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施することにより、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

年度 〈2012〉　会計　区分　所属 〈501〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	玉立・赤瀬系整備事業

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的	宇陀市上水道事業第3次拡張計画のうち、東榛原地区(玉立・赤瀬・額井・山辺三)の一部高所地区への水道の供給を行う。

水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款		
項		
目		
細目		

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要	玉立高区配水池築造及び給配水管工事実施設計業務 既存の玉立配水池より本事業で築造する玉立高区配水池まで送水する。そこから4大字へ配水し各戸へ給水する水道施設等設計業務。また、配水池等の用地費及び立木補償費
事業の成果	この給水区域は、平成24年度から平成29年度までの計画としています。この事業が完了しますと旧榛原町が掲げてきた榛原全戸給水となり、上水道の水道未普及地解消事業が完了します。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		7,920
県　費		
市　債		5,000
その他		5,000
一般財源		1,880
H24予算額	A	19,800
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	19,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

水道未普及地解消事業補助金
7,920千円

企業債
5,000千円

一般会計出資金
5,000千円

事業の目　標	当地域は、長年にわたり井戸及び取水を生活用水として使用してきました。水量、水質について日々不安定な状況で苦慮していた。本事業により上水を送ることにより、安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2) 水道給水区域の拡大

年度 〈2012〉　会計　区分　所属 〈501〉

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	高井配水池系上水道事業

所管課	水道局総務課	(水道局)

事業の目的

当地域は、井戸及び取水を生活用水として使用しています。また渇水期になると枯渇する井戸もあり、安定した水量も得られず生活に支障をきたしている状況にある。本事業を実施することにより安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。

水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款		
項		
目		
細目		

根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H24年度事業の概要

耐震性ポリエチレン管HPPE　φ150　L=1261m
耐震性ポリエチレン管HPPE　φ　75　L=598m
橋梁工　L=33.6m　φ100

事業の成果

給水区域を拡張したことにより生活環境の改善、公衆衛生の向上がみられた。また消火栓設置した事から防災面でも拡充されてきた。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		4,400
使用料		
国　費		28,080
県　費		
市　債		21,000
その他		21,000
一般財源		720
H24予算額	A	75,200
H23当初予算額	B	79,194
H23現計予算額		79,194
増減額	A－B	▲ 3,994

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	61,833	79,194
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	65,833	83,194
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	当該年度実施額/全体事業費	
活動指標の実績	5.0 単位 %	8 単位 %
単位当たりコスト　(円)	13,166,600	10,399,250

特定財源の状況

水道未普及地解消事業補助金
28,080千円

企業債
21,000千円

一般会計出資金
21,000千円

工事負担金
4,000千円

事業の目標

平成10年度に事業認可を得て以来、高井、赤埴甲地区、赤埴乙地区、八滝、自明へと水道管を延長し平成25年度に桧牧悠楽園まで施設整備を行いますと事業完了となり、この高井配水池系給水区域の市民が安全で安心な水が安定的に供給できる施設整備区域となる。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2) 水道給水区域の拡大